

令和7年

救 急 統 計

姫路市消防局



<b>救 急 概 要</b> .....	1
<b>第 1 救急出場の状況</b>	
1 救急出場件数 .....	3
2 救急出場件数の推移 .....	4
3 過去10年間の救急出場件数の推移 .....	4
4 事故種別出場件数構成比の推移 .....	5
5 月別出場件数 .....	6
6 曜日別出場件数 .....	6
7 時間別出場件数 .....	6
8 小学校区別出場状況 .....	7
9 隊別活動状況 .....	8
10 当市が行った応援出場状況 .....	10
11 当市が受けた応援の状況 .....	10
12 要保護者の搬送状況 .....	10
13 隊別救急出場の推移 .....	11
14 中核市消防本部の救急概況 .....	12
<b>第 2 傷病者の状況</b>	
1 事故別・傷病程度別搬送人員 .....	13
2 年齢別・事故別搬送人員 .....	14
3 年齢別・傷病程度別搬送人員 .....	14
4 年齢別・事故別人口比 .....	14
5 医療機関の選定状況 .....	15
6 診療時間別搬送人員 .....	15
7 管轄外への救急搬送 .....	16
8 過去5年間の傷病程度構成比の推移 .....	16
9 過去5年間の急病件数の推移 .....	17
10 科目別傷病程度と傷病名（急病） .....	17
11 受傷部位・傷病程度と傷病名（外傷） .....	17
12 発生場所別傷病程度（交通事故） .....	18
13 発生場所別傷病程度（一般負傷） .....	18
14 過去5年間の転院搬送人員の推移 .....	18

15	転院の理由	1 8
16	転院医療機関	1 9
17	管轄外・県外の転院医療機関	1 9
18	隊員の行った応急処置の状況	1 9
19	応急処置実施状況	2 0
20	救急資器材使用状況	2 0
21	搬送体位別搬送人員	2 0
22	救命率	2 1
23	不搬送状況	2 1
24	不搬送理由	2 1
25	過去5年間の傷病者の推移	2 2
26	市民処置状況	2 3
27	救急救命士の特定行為等実施状況の推移	2 3

## 付 表

### 救急関連業務

1	救急体制	2 4
2	医療体制	2 6
3	応急救護知識の普及	3 1
4	各研修実施状況	3 2
5	事後検証委員会実施状況	3 3
6	家島町における救急発生状況	3 3
7	指輪切断（リングカッター）使用状況	3 3
8	PA出動件数	3 4
9	サクスカード交付件数	3 4
10	月別搬送困難件数	3 4
	救急業務沿革	3 5

- |   |
|---|
| <p>1 統計中の符号の用法は、次のとおりです。</p> <p>「－」該当事案なし</p> <p>「0」単位未満</p> <p>「▲」負数</p> <p>2 構成比等、端数処理の関係上、表中の計算が合わないことがあります。</p> |
|---|

# 救 急 概 要

令和 7 年中における姫路市消防局の救急出場件数は、35,387 件で前年比 109 件の増加となっています。搬送人員は、29,730 人で、前年比 778 人増加しており、1日平均 97.0 件、約 14.9 分に 1 件の割合で救急車が出場し、管轄内住民の約 19 人に 1 人を搬送したことになります。

1日の最多出場は、1月4日(土)に162件を記録しています。

搬送人員を事故種別で見ると、急病が最も多く、次いで一般負傷、転院搬送、交通事故の順となっています。

また、年齢別搬送人員では高齢者(65歳以上)が18,830人で、全体の63.3%を占めています。

## 1 出場件数

### (1) 事故別出場件数

出場件数のうち最も多いのが急病で22,754件(64.3%)、次いで一般負傷5,626件(15.9%)、転院搬送3,635件(10.3%)、交通事故2,088件(5.9%)となっています。

### (2) 月別、曜日別、時間別状況

ア 月別出場件数は、1月が3,519件で最も多く、次いで12月(3,181件)、7月(3,139件)となっています。

イ 曜日別出場件数(1日平均)は、月曜日(103.8件)、土曜日(98.3件)、日曜日(98.1件)の出場が多くなっています。

ウ 時間別出場件数(1時間平均)は、10時台(6.57件)、9時台(6.42件)の出場が多くなっています。

### (3) 1件あたりの平均所要時間及び平均走行距離

平均所要時間は、指令から現場到着まで7分56秒、現場到着から病院到着まで32分31秒、指令から帰署まで65分44秒となっています。

救急車の平均走行距離は出場から現場まで3.7km、現場から病院まで8.0km、出場から帰署まで19.7kmとなっています。

## 2 傷病者の状況

傷病者を程度別にみると、中等症 16,719 人(56.2%)、軽症 11,873 人(39.9%)、重症・重篤・死亡 1,138 人(3.9%)の順となっております。

## 3 医療機関の選定

医療機関の選定は、救急隊長の選定が最も多く 23,469 人(78.9%)、次いで医師 4,147 人(13.9%)、関係者等 2,086 人(7.0%)の順となっております。

## 4 特定行為

救急救命士による特定行為は、心肺停止患者に対する器具による気道確保が 464 件(うち気管挿管 26 件)、静脈路確保が 463 件、アドレナリン投与 186 件を実施しています。また、除細動は 45 件、血糖測定は 522 件、ブドウ糖投与は 68 件、心肺停止前輸液は 125 件でした。

## 5 予後状況

救急隊が心肺蘇生法を実施した 578 人中、30 日以上生存者は 37 人で、そのうち 16 人が社会復帰されています。

# 第1 救急出場の状況

## 1 救急出場件数

出場件数は35,387件で、前年に比べて109件増加しています。

(令和7年中)

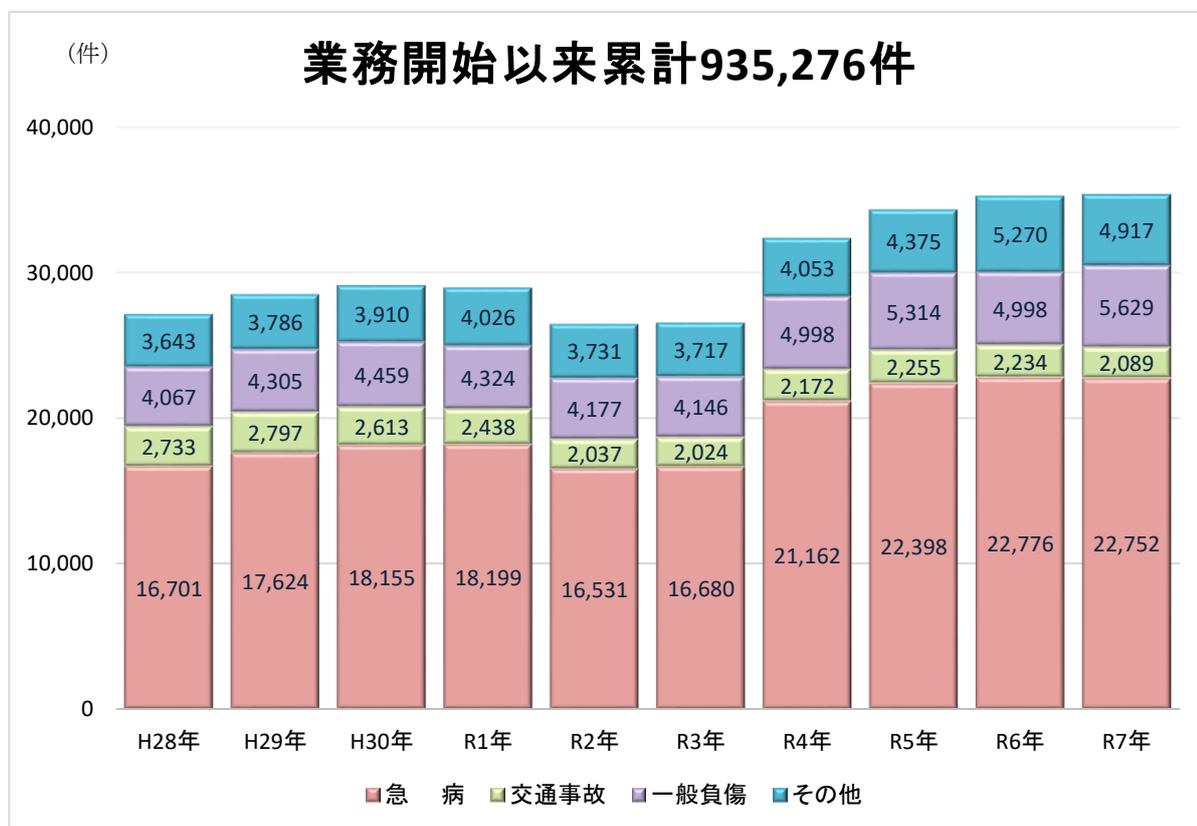
区 分	姫路市消防局				姫路市			管轄外	
	出場件数	前年件数	前年比	構成比	出場件数	前年件数	前年比	出場件数	前年比
火 災	231	191	40	0.7	213	171	42	2	▲ 1
自然災害	-	-	-	0.0	-	-	-	-	-
水 難	23	21	2	0.1	22	21	1	1	1
交通事故	2,088	2,234	▲ 146	5.9	1,972	2,119	▲ 147	14	9
労働災害	371	350	21	1.0	353	319	34	-	-
運動競技	178	177	1	0.5	168	168	-	-	-
一般負傷	5,626	5,683	▲ 57	15.9	5,263	5,318	▲ 55	-	-
加 害	117	142	▲ 25	0.3	113	138	▲ 25	-	-
自損行為	281	264	17	0.8	264	245	19	-	-
急 病	22,754	22,776	▲ 22	64.3	21,318	21,354	▲ 36	4	-
転院搬送	3,635	3,357	278	10.3	3,429	3,156	273	-	-
その他	83	83	-	0.2	78	78	-	-	-
合 計	35,387	35,278	109	100.0	33,193	33,087	106	21	9

区 分 (受託町等)	受託町合計			市川町			福崎町			神河町		
	出場件数	前年件数	前年比	出場件数	前年件数	前年比	出場件数	前年件数	前年比	出場件数	前年件数	前年比
火 災	16	17	▲ 1	6	3	3	5	12	▲ 7	5	2	3
自然災害	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
水 難	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
交通事故	102	110	▲ 8	24	34	▲ 10	60	47	13	18	29	▲ 11
労働災害	18	31	▲ 13	9	6	3	6	19	▲ 13	3	6	▲ 3
運動競技	10	9	1	4	4	-	2	5	▲ 3	4	-	4
一般負傷	363	365	▲ 2	112	108	4	150	137	13	101	120	▲ 19
加 害	4	4	-	-	1	▲ 1	3	3	-	1	-	1
自損行為	17	19	▲ 2	8	4	4	7	7	-	2	8	▲ 6
急 病	1,432	1,418	14	425	433	▲ 8	608	621	▲ 13	399	364	35
転院搬送	206	201	5	12	19	▲ 7	109	99	10	85	83	2
その他	5	5	-	2	1	1	2	3	▲ 1	1	1	-
合 計	2,173	2,179	▲ 6	602	613	▲ 11	952	953	▲ 1	619	613	6

## 2 救急出場件数の推移

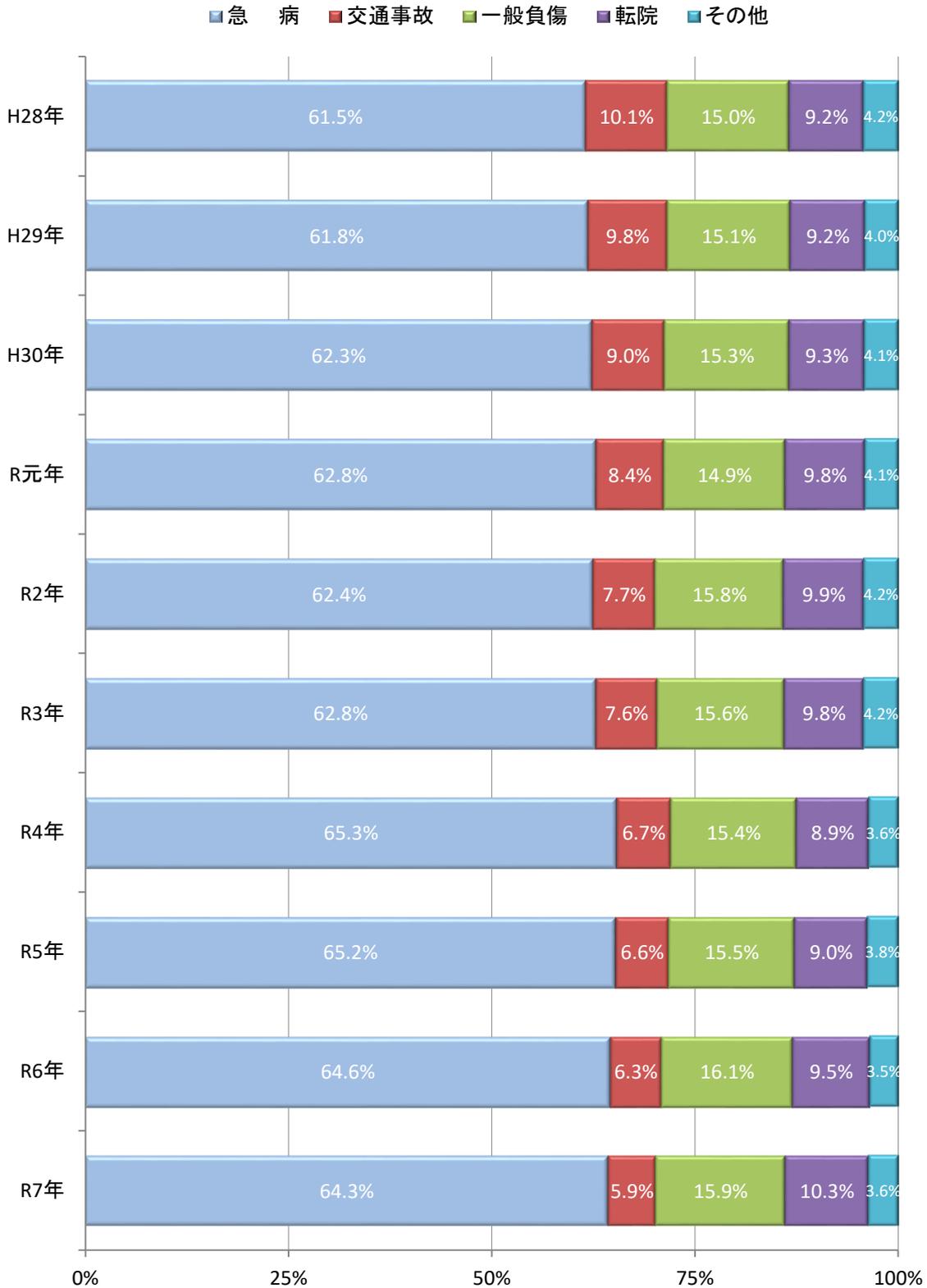
年次	件数	年次	件数	年次	件数	年次	件数
昭和33年	81	昭和50年	6,415	平成4年	10,010	平成21年	22,827
34年	91	51年	6,407	5年	10,492	22年	24,291
35年	257	52年	6,317	6年	10,761	23年	26,046
36年	494	53年	6,638	7年	12,063	24年	26,892
37年	698	54年	6,765	8年	12,321	25年	27,177
38年	1,114	55年	7,280	9年	12,813	26年	27,117
39年	1,817	56年	7,404	10年	13,331	27年	27,142
40年	2,214	57年	7,869	11年	14,144	28年	27,144
41年	2,837	58年	8,312	12年	15,428	29年	28,512
42年	3,062	59年	8,492	13年	16,195	30年	29,137
43年	3,181	60年	8,659	14年	16,955	令和元年	28,987
44年	3,972	61年	8,445	15年	17,739	2年	26,476
45年	4,918	62年	8,495	16年	18,802	3年	26,567
46年	5,499	63年	9,049	17年	19,671	4年	32,385
47年	6,172	平成元年	9,660	18年	19,340	5年	34,342
48年	6,412	平成2年	9,779	19年	22,679	6年	35,278
49年	6,021	3年	10,006	20年	21,993	7年	35,387
法制化			事務受託開始				

## 3 過去10年間の救急出場件数の推移



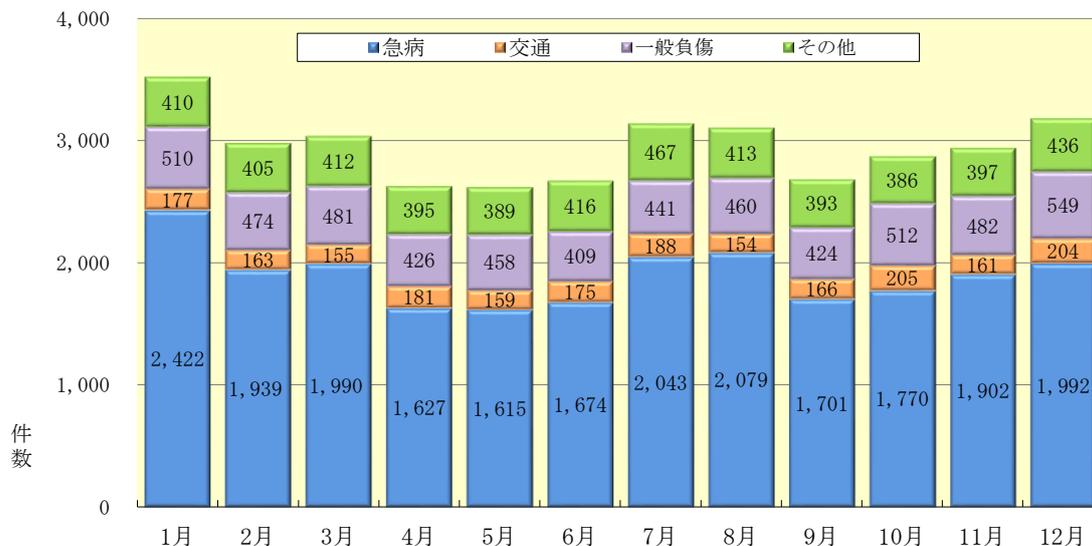
#### 4 事故種別出場件数構成比の推移

急病が高い割合で推移しています。  
急病・交通事故・一般負傷・転院搬送の割合が全体の約96%となっています。



## 5 月別出場件数

1月が3,519件で最も多く、次いで12月(3,181件)、7月(3,139件)の順となっています。



## 6 曜日別出場件数

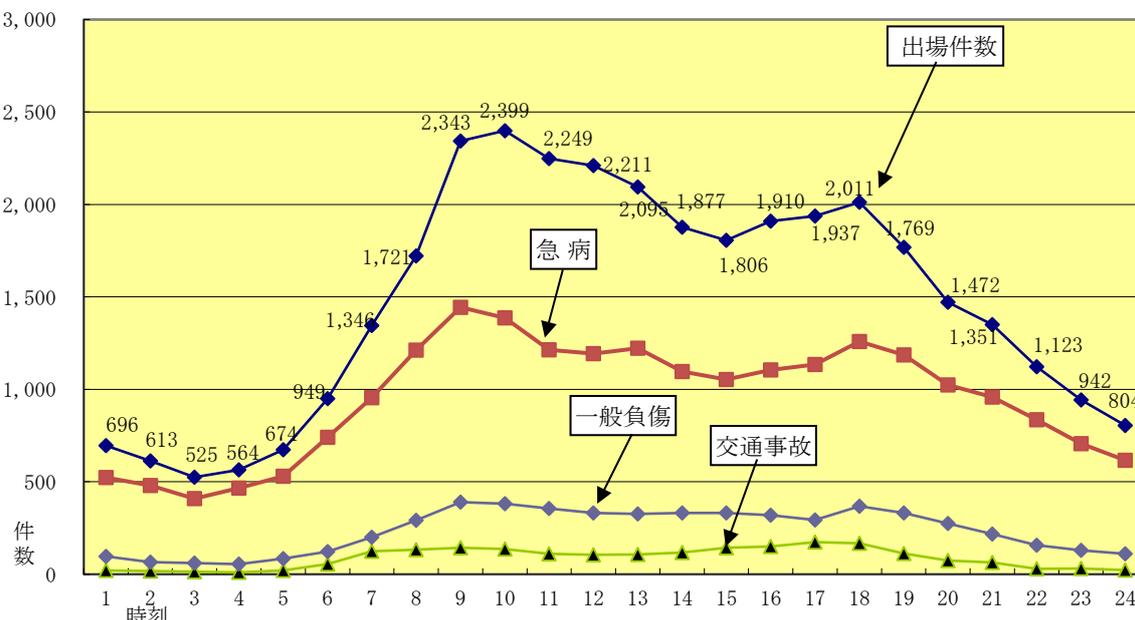
曜日別出場件数は、月曜日(103.8件)、土曜日(98.3件)、日曜日(98.1件)の出場が多くなっています。

曜日	合計	日曜日	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日	土曜日
件数	35,387 (33,193)	5,103 (4,747)	5,395 (5,035)	4,915 (4,609)	5,071 (4,790)	4,831 (4,548)	4,959 (4,652)	5,113 (4,812)
1日平均	97.0 (90.9)	98.1 (91.3)	103.8 (96.8)	94.5 (88.6)	95.7 (90.4)	92.9 (87.5)	95.4 (89.5)	98.3 (92.5)
比率(%)	100.0	14.4	15.2	13.9	14.3	13.7	14.0	14.4
日数	365	52	52	52	53	52	52	52

(参考) 1日最高件数は、1月4(土)に162件を記録し、過去最多出場となりました。  
( )内は姫路市の数値です。

## 7 時間別出場件数

時間別出場件数は、10時台(6.57件)、9時台(6.42件)の出場が多くなっています。



## 8 小学校区別出場状況

校区別出場件数は、前年に比べ勝原・手柄・大塩校区等が増加し、白鷺・城陽・安室東校区等が減少しています。

校区		令和7年	令和6年	増減数
合計		35,387	35,278	109
姫路東消防署	小計	9,519	9,620	▲101
	白鷺	1,724	1,791	▲67
	野里	539	575	▲36
	城東	720	751	▲31
	東	648	618	30
	花田	633	634	▲1
	城北	331	370	▲39
	広峰	520	531	▲11
	水上	421	427	▲6
	砥堀	543	494	49
	城乾	290	274	16
	増位	457	485	▲28
	四郷	492	500	▲8
	御国野	592	563	29
	別所	444	422	22
	谷外	296	327	▲31
	谷内	114	105	9
	豊富	427	413	14
山田	124	103	21	
船津	204	237	▲33	
姫路西消防署	小計	9,500	9,403	97
	城陽	1,089	1,143	▲54
	手柄	916	863	53
	船場	620	582	38
	荒川	886	885	1
	高岡	1,088	1,062	26
	安室	574	552	22
	城西	469	480	▲11
	安室東	519	572	▲53
	高岡西	621	600	21
	曾左	640	650	▲10
	白鳥	600	591	9
	太市	143	120	23
	林田	219	234	▲15
	伊勢	56	57	▲1
	峰相	238	254	▲16
	青山	567	538	29
	安富南	232	201	31
安富北	23	19	4	
飾磨消防署	小計	8,563	8,487	76
	飾磨	1,357	1,363	▲6
	津田	625	600	25
	英賀保	1,049	1,057	▲8
	高浜	825	825	-
	妻鹿	237	257	▲20
	広畑	472	497	▲25
	八幡	884	886	▲2

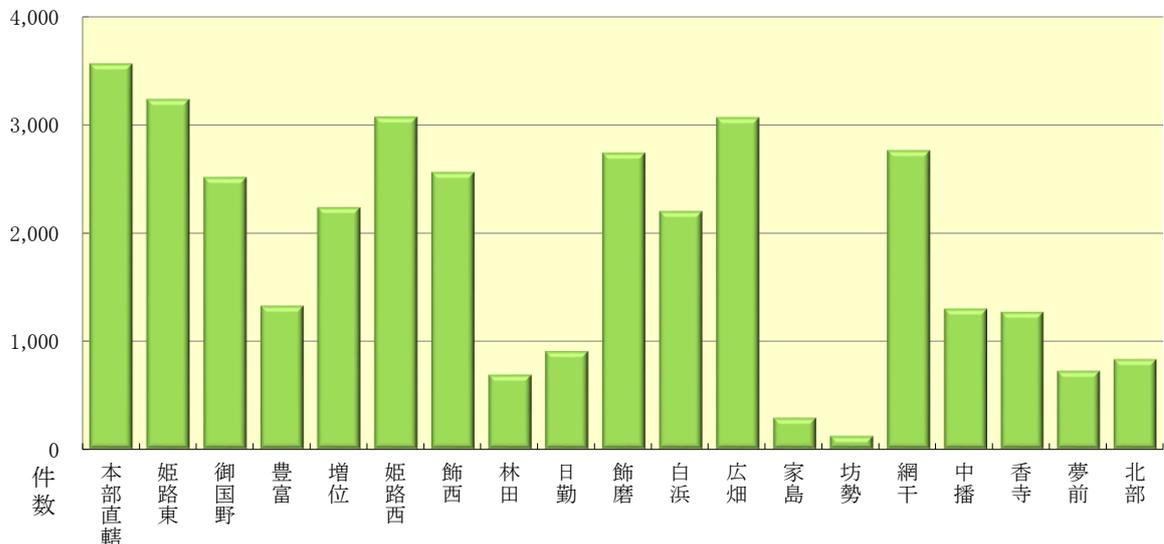
校区		令和7年	令和6年	増減数
飾磨消防署	白浜	811	806	5
	八木	139	114	25
	糸引	487	490	▲3
	的形	264	266	▲2
	大塩	461	408	53
	家島	290	285	5
	坊勢	121	92	29
網干消防署	小計	3,761	3,685	76
網干消防署	大津	655	695	▲40
	大津茂	190	199	▲9
	南大津	365	370	▲5
	網干	573	563	10
	旭陽	604	603	1
	勝原	718	640	78
	余部	244	241	3
	網干西	412	374	38
	小計	4,023	4,071	▲48
	中播消防署	置塩	188	185
古知		89	98	▲9
前之庄		311	333	▲22
筋野		60	60	-
上菅		90	107	▲17
菅生		184	211	▲27
香呂		437	445	▲8
香呂南		134	97	37
中寺		357	356	1
福崎		393	385	8
高岡		58	60	▲2
田原		376	387	▲11
八千種		125	121	4
川辺		179	195	▲16
甘地	153	168	▲15	
瀬加	122	104	18	
鶴居	148	146	2	
神崎	388	384	4	
寺前	186	180	6	
長谷	45	49	▲4	
管外※	21	12	9	

※管外とは、近隣市町への出場です。

## 9 隊別活動状況

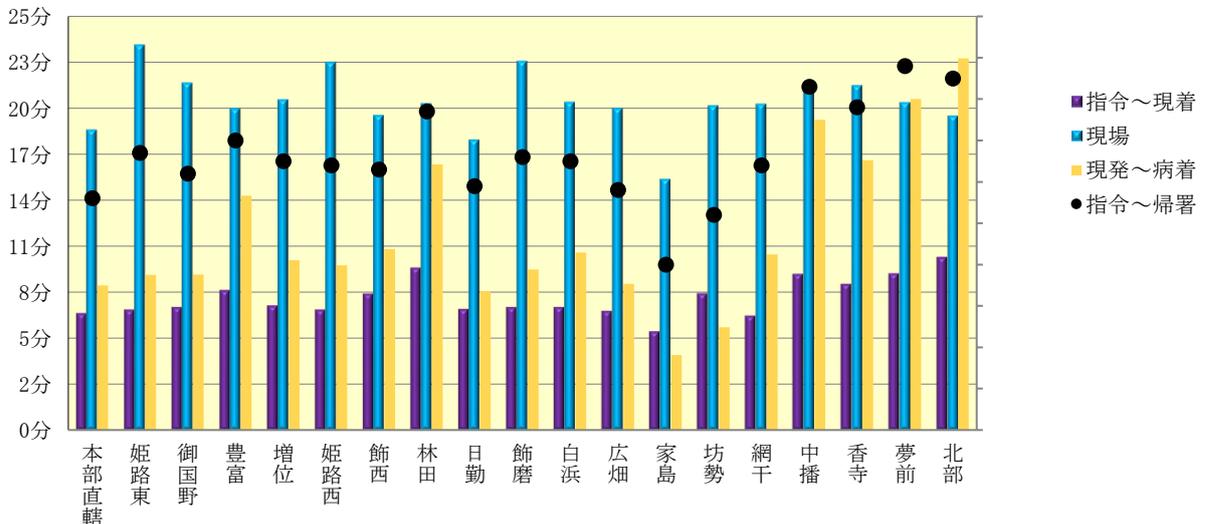
署・隊別 区 分		今年	前年数	前年比	消防局	姫路東消防署			
					本部直轄	姫路東	御国野	豊富	増位
出場状況	出場件数 (件)	35,387	35,278	109	3,561	3,233	2,513	1,325	2,235
	比率 (%)	100.0	—	—	10.1	9.1	7.1	3.7	6.3
	前年出場件数 (件)	35,278	—	—	3,505	3,285	2,652	1,252	2,308
	前年比 (件)	109	—	—	56	▲52	▲139	73	▲73
搬送人員 (人)		29,730	28,952	778	2,873	2,610	2,090	1,103	1,823
不搬送件数 (件)		5,773	6,461	▲688	702	627	431	226	416
1日平均 (件)		97.0	96.4	0.6	9.8	8.9	6.9	3.6	6.1
1日最高 (件)		162	159	3	17	20	13	10	12
急病の割合 (%)		64.3	64.6	▲0.3	63.8	63.8	65.0	62.4	67.8
交通事故の割合 (%)		5.9	6.3	▲0.4	7.0	6.2	6.4	5.0	5.2
一般負傷の割合 (%)		15.9	16.1	▲0.2	15.6	16.5	14.7	14.9	17.3
転院搬送の割合 (%)		10.3	9.5	0.8	9.8	9.9	9.9	14.2	6.4
常置場所以外からの出場件数 (件)		3,722	3,710	12	377	350	283	189	139
連続出場 (件)		3,288	3,288	—	368	321	242	102	128
ドクターカー連携 (件)		513	481	32	81	54	43	24	41
ドクターヘリ連携 (件)		46	44	2	1	1	—	1	1
1件 当たりの 所要時間	受付～指令	1'58"	1'53"	0'05"	2'03"	1'56"	1'51"	1'54"	1'52"
	指令～現場	7'56"	7'53"	0'03"	7'18"	7'31"	7'41"	8'45"	7'47"
	現場	21'02"	22'26"	▲1'24"	18'48"	24'07"	21'45"	20'09"	20'42"
	現場～病院	11'28"	11'15"	0'13"	9'04"	9'43"	9'44"	14'41"	10'38"
	病院	13'18"	13'45"	▲0'27"	14'34"	16'38"	11'57"	11'07"	13'11"
	現着～病着	32'31"	33'41"	▲1'10"	27'52"	33'50"	31'29"	34'50"	31'20"
	指令～帰署	65'44"	66'43"	▲0'59"	56'32"	67'06"	62'12"	70'55"	65'12"
1件 当たりの 走行距離 (km)	出場～現場	3.7	3.8	▲0.1	3.2	3.2	3.5	4.9	3.1
	現場～病院	8.0	7.9	0.1	5.6	5.8	6.3	10.7	6.5
	出場～帰署	19.7	19.7	—	14.1	14.6	15.8	27.2	16.7
全所要時間 (時間)		38,768	39,227	▲459	3,355	3,615	2,605	1,566	2,429

・隊別出動件数の比較



姫路西消防署				飾磨消防署					網干署	中播消防署			
姫路西	飾西	林田	日勤	飾磨	白浜	広畑	家島	坊勢	網干	中播	香寺	夢前	北部
3,070	2,560	689	905	2,737	2,200	3,065	290	121	2,761	1,298	1,269	722	833
8.7	7.2	2.0	2.6	7.7	6.2	8.7	0.8	0.3	7.8	3.7	3.6	2.0	2.4
3,387	2,491	739	634	2,727	2,108	2,976	284	92	2,704	1,307	1,252	754	821
▲317	69	▲50	271	10	92	89	6	29	57	▲9	17	▲32	12
2,632	2,172	605	830	2,373	1,791	2,598	267	105	2,324	1,097	1,105	627	705
453	393	87	77	377	416	483	25	16	445	206	168	97	128
8.4	7.0	1.9	2.5	7.5	6.0	8.4	0.8	0.3	7.6	3.6	3.5	2.0	2.3
18	13	6	7	13	13	15	5	4	18	9	8	6	6
64.2	65.9	68.8	41.4	63.2	65.1	64.1	57.6	59.5	67.3	64.9	65.7	65.1	68.2
5.8	5.0	4.6	5.0	6.9	6.3	6.4	1.4	5.0	5.7	5.8	5.6	7.2	2.9
16.3	16.5	16.6	13.5	14.9	16.1	15.6	12.8	16.5	15.7	16.3	17.1	16.5	18.0
10.7	9.6	6.2	38.3	10.1	8.4	10.4	25.9	13.2	7.3	9.0	7.4	8.2	9.1
375	237	61	109	375	230	310	9	6	329	68	139	81	55
355	228	44	107	366	196	299	2	2	312	53	81	59	23
52	30	4	32	33	35	22	-	-	13	17	16	11	5
1	3	4	-	-	2	-	2	3	2	8	2	2	13
1'55"	1'48"	1'45"	1'51"	2'47"	2'03"	2'01"	1'43"	1'53"	1'52"	1'43"	1'54"	1'41"	1'40"
7'31"	8'31"	10'08"	7'34"	7'41"	7'41"	7'27"	6'09"	8'32"	7'08"	9'45"	9'07"	9'47"	10'48"
23'03"	19'44"	20'28"	18'11"	23'06"	20'33"	20'10"	15'43"	20'19"	20'26"	21'33"	21'35"	20'32"	19'41"
10'19"	11'21"	16'39"	8'42"	10'04"	11'07"	9'10"	4'42"	6'26"	11'00"	19'27"	16'54"	20'45"	23'17"
12'47"	10'47"	12'57"	14'24"	14'36"	13'46"	12'22"	9'33"	9'29"	14'06"	12'15"	13'10"	12'33"	11'59"
33'23"	31'06"	37'07"	26'53"	33'10"	31'40"	29'21"	20'25"	26'46"	31'25"	41'00"	38'29"	41'17"	42'57"
64'49"	63'31"	77'27"	59'01"	66'17"	65'25"	58'36"	40'21"	52'18"	64'05"	83'09"	78'59"	88'24"	85'57"
3.4	3.8	6.8	4.2	3.5	3.8	3.2	0.9	1.6	3.2	5.0	4.4	6.5	6.5
6.6	7.1	13.0	6.3	6.2	7.7	5.8	1.2	2.4	7.0	18.5	13.9	17.4	23.2
16.2	18.1	33.1	16.1	15.7	19.5	14.8	3.5	6.0	18.0	41.8	32.6	41.5	50.5
3,316	2,710	889	890	3,024	2,399	2,994	195	105	2,949	1,799	1,671	1,064	1,193

・隊別1件当たりの所要時間の比較



## 10 当市が行った応援出場状況

「消防業務の相互応援に関する協定」に基づき、近隣市町へ出場しています。

市町	事故別	件数	火災	交通事故	一般負傷	急病	その他
高砂市		8	—	6	—	1	1
加古川市		1	1	—	—	—	—
たつの市		1	—	1	—	—	—
太子町		5	—	5	—	—	—
加西市		6	1	2	—	3	—
合計		21	2	14	—	4	1

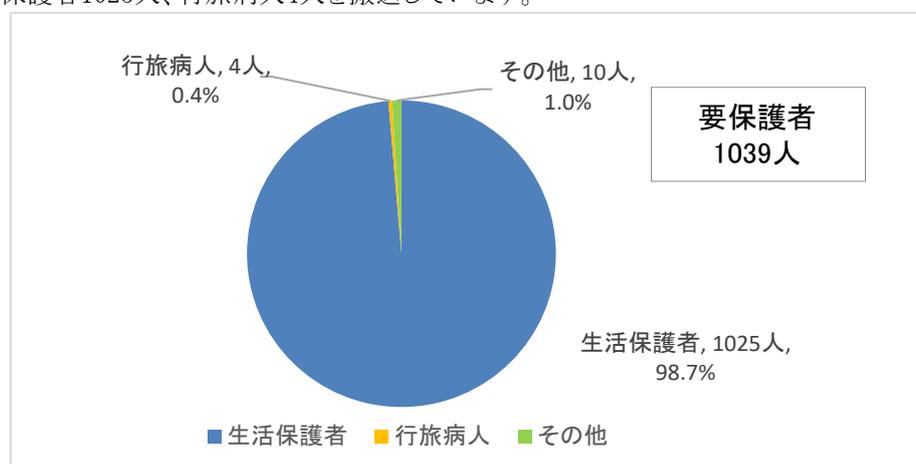
## 11 当市が受けた応援の状況

当市が受けた応援は6件でした。

消防本部	事故別	件数	急病	交通事故	一般負傷	その他
高砂市		4	1	3	—	—
加古川市		1	—	1	—	—
西はりま		1	—	1	—	—
北はりま		—	—	—	—	—
合計		6	1	5	—	—

## 12 要保護者の搬送状況

生活保護者1025人、行旅病人4人を搬送しています。



### 過去5年の要保護者の搬送状況

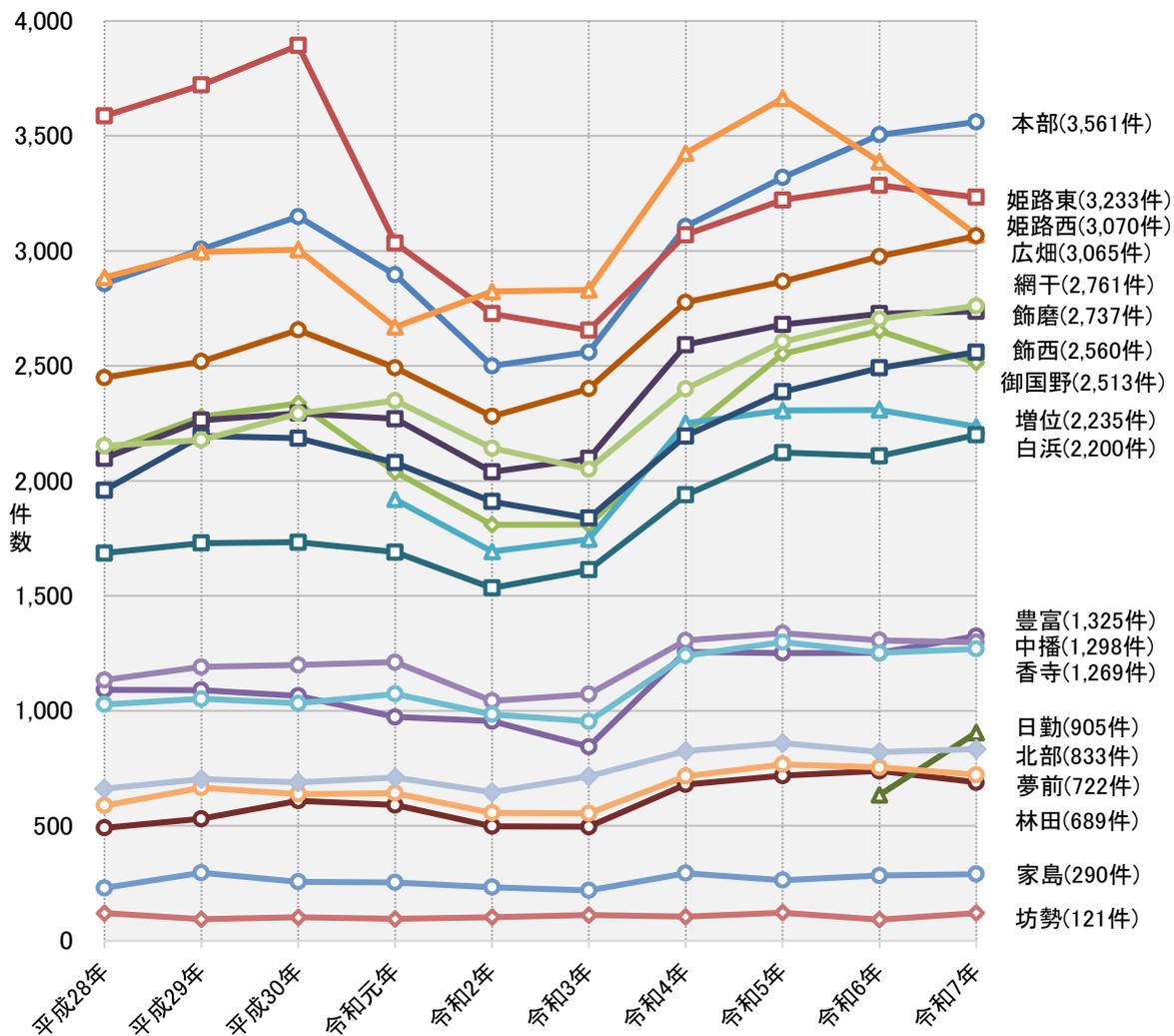
	令和7年	令和6年	令和5年	令和4年	令和3年
生活保護者	1025	974	860	787	695
行旅病人	4	5	5	6	6
その他	10	8	10	13	7
合計	1039	987	875	806	708

※ その他は、生活困窮者等です。

### 13 隊別救急出場の推移

本部直轄救急隊が最も多く出場し、年間出場件数3,561件で1日平均9.8件となっております。

年次		平成28年	平成29年	平成30年	令和元年	令和2年	令和3年	令和4年	令和5年	令和6年	令和7年
区分	本部直轄	2,857	3,007	3,149	2,896	2,500	2,560	3,106	3,319	3,505	3,561
姫路東	姫路東	3,587	3,721	3,893	3,034	2,727	2,655	3,070	3,221	3,285	3,233
	御国野	2,126	2,279	2,337	2,038	1,809	1,810	2,208	2,552	2,652	2,513
	豊富	1,092	1,090	1,065	973	955	844	1,257	1,251	1,252	1,325
	増位	-	-	-	1,920	1,693	1,746	2,251	2,306	2,308	2,235
姫路西	姫路西	2,884	2,996	3,005	2,669	2,823	2,830	3,425	3,663	3,387	3,070
	飾西	1,959	2,195	2,185	2,079	1,910	1,838	2,195	2,387	2,491	2,560
	林田	491	531	609	590	498	496	680	718	739	689
	日勤	-	-	-	-	-	-	-	-	634	905
飾磨	飾磨	2,098	2,264	2,294	2,270	2,039	2,097	2,592	2,680	2,727	2,737
	白浜	1,686	1,730	1,733	1,690	1,534	1,613	1,939	2,123	2,108	2,200
	広畑	2,449	2,519	2,656	2,492	2,280	2,401	2,776	2,867	2,976	3,065
	家島	230	296	257	254	233	219	294	264	284	290
網干	網干	2,153	2,178	2,293	2,349	2,142	2,051	2,400	2,605	2,704	2,761
	中播	1,134	1,191	1,199	1,212	1,043	1,072	1,306	1,338	1,307	1,298
中播	香寺	1,028	1,052	1,033	1,074	985	954	1,240	1,299	1,252	1,269
	夢前	588	666	638	642	556	554	716	767	754	722
	北部	662	703	689	710	646	715	825	860	821	833
合計	27,144	28,512	29,137	28,987	26,476	26,567	32,385	34,342	35,278	35,387	



#### 14 中核市消防本部の救急概況（令和7年中）

消防本部名	出場件数	前年比	管轄人口	人口1万人当たりの 出場件数	救急隊数	1隊当たりの 出場件数
姫路市	35,387	109	560,191	632	19	1,862
函館市	18,529	551	232,760	796	10	1,853
旭川市	19,822	▲ 289	339,373	584	15	1,321
青森地域広域	13,968	138	280,298	498	13	1,074
八戸地域広域	15,037	448	297,817	505	16	940
盛岡地区広域	20,478	▲ 20	443,798	461	19	1,078
秋田市	13,983	▲ 50	291,745	479	10	1,398
山形市	13,328	581	260,264	512	9	1,481
福島市	15,484	251	271,398	571	10	1,548
いわき市	15,974	▲ 58	314,640	508	14	1,141
郡山地方広域	19,442	85	373,604	520	18	1,080
水戸市	17,328	▲ 1,140	288,782	600	10	1,733
宇都宮市	28,498	1,161	510,880	558	13	2,192
川越地区	22,284	▲ 126	373,949	596	10	2,228
川口市	37,458	▲ 13	608,515	616	16	2,341
越谷市	20,408	338	341,621	597	9	2,268
横須賀市	31,000	419	430,147	721	16	1,938
柏市	26,002	▲ 221	426,468	610	14	1,857
富山市	23,766	232	401,436	592	17	1,398
金沢市	24,645	337	443,123	556	13	1,896
福井市	11,937	▲ 35	252,067	474	9	1,326
長野市	23,739	▲ 32	393,010	604	21	1,130
松本広域	21,699	171	414,455	524	14	1,550
前橋市	20,971	507	327,659	640	14	1,498
岐阜市	29,712	600	529,166	561	22	1,351
豊橋市	18,394	▲ 58	366,089	502	10	1,839
岡崎市	19,384	180	381,179	509	13	1,491
一宮市	21,199	453	374,964	565	12	1,767
豊田市	22,085	456	413,989	533	17	1,299
大津市	20,531	▲ 299	343,211	598	10	2,053
高槻市	24,668	▲ 782	343,943	717	12	2,056
東大阪市	38,064	466	478,689	795	12	3,172
尼崎市	34,653	▲ 890	454,653	762	12	2,888
明石市	18,643	110	307,235	607	7	2,663
西宮市	28,248	▲ 1,203	485,587	582	12	2,354
奈良市	25,047	▲ 96	354,630	706	14	1,789
和歌山市	23,132	453	340,948	678	13	1,779
鳥取県東部広域	12,015	55	212,767	565	13	924
松江市	11,206	370	192,512	582	13	862
倉敷市	28,256	736	498,330	567	17	1,662
呉市	12,002	▲ 112	197,673	607	14	857
福山地区	27,135	194	495,835	547	16	1,696
下関市	17,505	▲ 37	239,655	730	10	1,751
高松市	27,334	▲ 11	467,067	585	14	1,952
松山市	31,039	▲ 504	511,192	607	17	1,826
高知市	21,120	402	312,228	676	13	1,625
久留米広域	25,936	938	448,011	579	16	1,621
長崎市	29,297	239	453,135	647	15	1,953
大分市	25,781	810	470,718	548	14	1,842
宮崎市	22,091	▲ 694	417,139	530	11	2,008
鹿児島市	38,079	▲ 569	578,709	658	18	2,116
那覇市	24,211	▲ 565	317,625	762	8	3,026

※ 調査時点で暫定値を掲載している消防本部もあります。

## 第2 傷病者の状況

### 1 事故別・傷病程度別搬送人員

傷病者の程度別をみると、重症者が259人減少しています。

	合 計	火 災	自 然 災 害	水 難	交 通 事 故	労 働 災 害	運 動 競 技	一 般 負 傷	加 害	自 損 行 為	急 病	その他		前 年 人 数	前 年 比	
												転 院 搬 送	そ の 他			
合計	29,730 (100.0)	25 (0.1)	- (-)	6 (0.0)	1,785 (6.0)	351 (1.2)	169 (0.6)	4,875 (16.4)	82 (0.3)	177 (0.6)	18,659 (62.8)	3,598 (12.1)	3 (0.0)	28,952	778	
姫路市消防局	29,730 (100.0)	352	2	-	3	9	1	-	18	-	22	295	2	-	312	40
死亡		254	2	-	1	8	5	-	17	-	7	210	4	-	250	4
重篤		532	2	-	-	21	11	-	44	-	9	358	87	-	791	▲259
重症		16,719	7	-	2	464	163	36	2,203	20	93	10,345	3,384	2	15,879	840
中等症		11,873	12	-	-	1,283	171	133	2,593	62	46	7,451	121	1	11,720	153
軽症																
姫路市	27,866 (93.7)	322	2	-	3	9	-	-	16	-	20	270	2	-	286	36
死亡		241	2	-	1	7	5	-	16	-	7	199	4	-	233	8
重篤		502	2	-	-	19	10	-	41	-	9	337	84	-	743	▲241
重症		15,635	7	-	2	437	153	36	2,042	19	87	9,661	3,189	2	14,878	757
中等症		11,166	12	-	-	1,208	165	124	2,444	60	41	6,997	114	1	11,015	151
軽症		27,866	25	-	6	1,680	333	160	4,559	79	164	17,464	3,393	3	27,155	711
小計																
市川町	491 (1.7)	10	-	-	-	-	1	-	1	-	-	8	-	-	4	6
死亡		3	-	-	-	-	-	-	1	-	-	2	-	-	4	▲1
重篤		11	-	-	-	-	-	-	2	-	-	9	-	-	16	▲5
重症		278	-	-	-	7	6	-	48	-	4	202	11	-	270	8
中等症		189	-	-	-	13	2	4	45	-	3	121	1	-	198	▲9
軽症		491	-	-	-	20	9	4	97	-	7	342	12	-	492	▲1
小計																
福崎町	818 (2.8)	4	-	-	-	-	-	-	-	-	1	3	-	-	9	▲5
死亡		6	-	-	-	1	-	-	-	-	-	5	-	-	10	▲4
重篤		7	-	-	-	2	-	-	-	-	-	5	-	-	12	▲5
重症		448	-	-	-	11	3	-	56	1	2	272	103	-	397	51
中等症		353	-	-	-	42	3	2	74	1	2	224	5	-	351	2
軽症		818	-	-	-	56	6	2	130	2	5	509	108	-	779	39
小計																
神河町	539 (1.8)	16	-	-	-	-	-	-	1	-	1	14	-	-	13	3
死亡		4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4	-	-	3	1
重篤		12	-	-	-	-	1	-	1	-	-	7	3	-	20	▲8
重症		352	-	-	-	4	1	-	57	-	-	209	81	-	332	20
中等症		155	-	-	-	12	1	3	30	1	-	107	1	-	151	4
軽症		539	-	-	-	16	3	3	89	1	1	341	85	-	519	20
小計																
管外	16 (0.1)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
死亡		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
重篤		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
重症		6	-	-	-	5	-	-	-	-	-	1	-	-	2	4
中等症		10	-	-	-	8	-	-	-	-	-	2	-	-	5	5
軽症		16	-	-	-	13	-	-	-	-	-	3	-	-	7	9
小計																

( )内の数値は構成比(%)

※ 重篤とは、生命の危険が切迫しているものをいう。

重症とは、3週間以上の入院加療を要するものをいう。

中等症とは、3週間未満の入院加療を要するものをいう。

軽症とは、入院加療を必要としないものをいう。

## 2 年齢別・事故別搬送人員

年齢別搬送人員は、高齢者が約2/3(63.3%)を占めています。

年齢 事故別	合計	新生児	乳幼児	少年	成人	高齢者
急病	18,659 (62.8)	13 (0.0)	928 (3.1)	550 (1.8)	5,120 (17.2)	12,048 (40.5)
交通	1,785 (6.0)	- (-)	28 (0.1)	220 (0.7)	986 (3.3)	551 (1.9)
一般	4,875 (16.4)	2 (0.0)	342 (1.2)	207 (0.7)	813 (2.7)	3,511 (11.8)
その他	4,411 (14.8)	14 (0.0)	62 (0.2)	210 (0.7)	1,405 (4.7)	2,720 (9.1)
合計	29,730 (100.0)	29 (0.1)	1,360 (4.6)	1,187 (4.0)	8,324 (28.0)	18,830 (63.3)

年齢区分

※ ( )内の数値は構成比(%)

新生児:生後28日未満の者

成人:満18歳以上65歳未満の者

## 3 年齢別・傷病程度別搬送人員

年齢 程度別	合計	新生児	乳幼児	少年	成人	高齢者
死亡	352 (1.2)	- (-)	1 (0.0)	3 (0.0)	47 (0.2)	301 (1.0)
重篤	254 (0.9)	- (-)	- (-)	4 (0.0)	49 (0.2)	201 (0.7)
重症	532 (1.8)	1 (0.0)	9 (0.0)	12 (0.0)	126 (0.4)	384 (1.3)
中等症	16,719 (56.2)	20 (0.1)	339 (1.1)	318 (1.1)	3,667 (12.3)	12,375 (41.6)
軽症	11,873 (39.9)	8 (0.0)	1,011 (3.4)	850 (2.9)	4,435 (14.9)	5,569 (18.7)
合計	29,730 (100.0)	29 (0.1)	1,360 (4.6)	1,187 (4.0)	8,324 (28.0)	18,830 (63.3)

年齢区分

※ ( )内の数値は構成比(%)

新生児:生後28日未満の者

成人:満18歳以上65歳未満の者

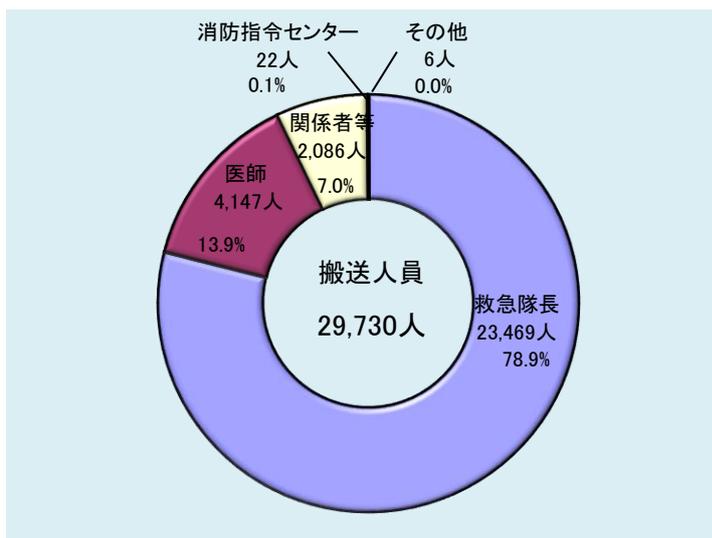
## 4 年齢別・事故別人口比(人口1,000人当たりの搬送人員)

年齢別・事故別人口比は、80歳以上の急病が約128人と最も多く、管轄住民の約19人に1人を搬送したことになります。

	合計	0~3	4~6	7~9	10~15	16~19	20~29	30~39	40~49	50~59	60~69	70~79	80以上
人口	560,191 (521,074)	14,884 (14,113)	12,858 (12,095)	14,171 (13,248)	31,164 (29,127)	21,904 (20,416)	57,763 (54,482)	58,333 (54,806)	72,010 (67,341)	84,594 (79,350)	66,146 (60,804)	70,980 (64,777)	55,384 (50,515)
急病	33.3 (33.5)	48.8 (48.5)	16.6 (17.0)	7.2 (6.9)	10.3 (10.4)	12.5 (12.8)	14.9 (15.2)	13.5 (13.8)	13.2 (13.2)	18.6 (18.7)	27.0 (27.4)	55.7 (57.1)	128.3 (130.4)
交通	3.2 (3.2)	0.7 (0.7)	1.3 (1.2)	3.0 (3.1)	3.3 (3.3)	7.0 (7.0)	3.7 (3.7)	2.9 (2.7)	2.5 (2.5)	2.9 (2.9)	2.9 (3.0)	3.6 (3.8)	3.8 (3.8)
一般	8.7 (8.7)	17.2 (17.6)	6.8 (6.6)	6.0 (6.1)	3.3 (3.4)	1.5 (1.6)	1.9 (1.9)	1.5 (1.6)	2.2 (2.2)	3.1 (3.1)	6.0 (6.0)	13.9 (14.4)	41.7 (42.3)
その他	7.9 (8.0)	4.0 (4.1)	1.2 (1.2)	1.3 (1.3)	3.6 (3.6)	5.2 (5.3)	4.7 (4.9)	4.1 (4.3)	3.2 (3.2)	4.7 (4.9)	7.3 (7.3)	13.0 (13.5)	27.9 (28.5)
合計	53.1 (53.5)	70.8 (70.9)	26.1 (26.0)	17.6 (17.4)	20.6 (20.7)	26.3 (26.7)	25.1 (25.8)	22.1 (22.3)	21.1 (21.2)	29.3 (29.6)	43.2 (43.7)	86.2 (88.8)	201.6 (205.1)

※ ( )内の数値は姫路市の数値です

## 5 医療機関の選定状況



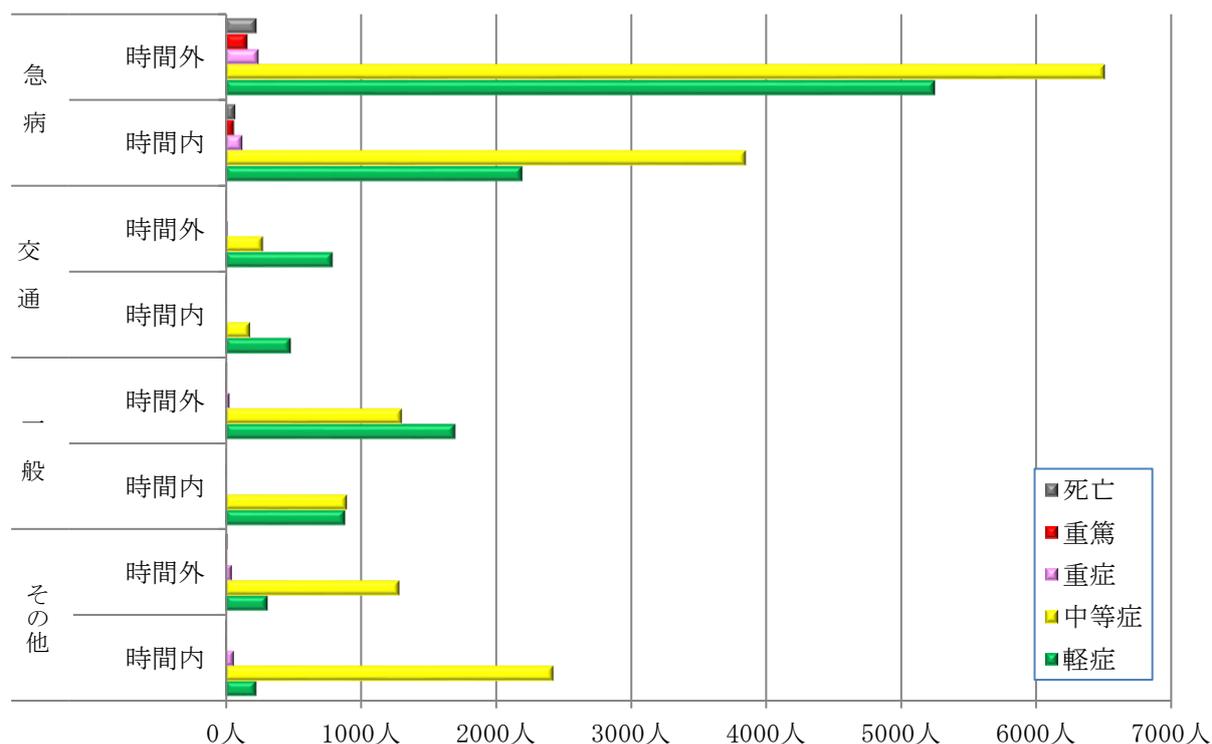
・医療機関の選定は、救急隊長の選定が最も多く、次いで医師、関係者等の順となっています。

・消防指令センター及び救急隊長選定は、最寄りの適合医療機関へ搬送することを原則に播磨姫路救急搬送システム (HEARTS)、県救急医療情報システム、県個別搬送要請システム、病院群輪番制、休日夜間急病センター、二次病院などの医療情報を参考にして病院搬送を行っています。

・救急隊長選定の中には、車両端末や他隊の受け入れ状況及び収容時間等を考慮した消防指令センターとの連携も含まれています。

## 6 診療時間別搬送人員

搬送人員の61.3%が診療時間外となっています。



		合計	死亡	重篤	重症	中等症	軽症
急病	時間内	6,291	72	60	121	3,839	2,199
	時間外	12,368	223	150	237	6,506	5,252
交通	時間内	684	4	4	5	185	486
	時間外	1,101	5	4	16	279	797
一般	時間内	1,807	3	4	13	898	889
	時間外	3,068	15	13	31	1,305	1,704
その他	時間内	2,735	12	7	62	2,422	232
	時間外	1,676	18	12	47	1,285	314

※ 診療時間内とは、月～金曜日の9:00～17:00、土曜日は9:00～12:00に傷病者を医療機関へ搬送したもので、休日(年末年始を含む)と他の時間は、診療時間外に算入しています。

## 7 管轄外への救急搬送

	令和7年		令和6年	
た つ の 市	586	(28)	366	(18)
加 古 川 市	221	(71)	232	(68)
高 砂 市	196	(13)	293	(12)
加 西 市	166	(32)	179	(22)
宍 粟 市	102	(18)	124	(26)
神 戸 市	83	(48)	65	(40)
明 石 市	32	(10)	32	(12)
太 子 町	29	(2)	23	(2)
赤 穂 市	22	(13)	15	(6)
相 生 市	10	(2)	19	(9)
県 外	12	(11)	10	(6)
そ の 他	50	(23)	37	(19)
合 計	1,509	(271)	1,395	(240)

( )内は転院搬送の搬送者数

## 8 過去5年間の傷病程度構成比の推移

軽症・中等症が9割以上を占めています。



## 9 過去5年間の急病件数の推移

事故別で最も多い急病は、全件数の約6割を占めています。

区分	令和7年	令和6年	令和5年	令和4年	令和3年
急病件数	22,754 (1,432)	22,776 (1,418)	22,398 (1,482)	21,162 (1,442)	16,680 (1,137)
全件数	35,387 (2,173)	35,278 (2,179)	34,342 (2,237)	32,385 (2,170)	26,567 (1,815)
全件数に占める割合(%)	64.3 (65.9)	64.6 (65.1)	65.2 (66.9.2)	65.3 (66.5)	62.8 (62.6)
搬送人員	18,659 (1,192)	18,190 (1,153)	17,292 (1,145)	15,880 (1,166)	13,733 (1,019)

※ ( )内の数値は受託町

## 10 科目別傷病程度と傷病名(急病)

診療科目別搬送人員は、脳血管障害以外の循環器科と呼吸器科の疾患が多くなっています。

区分 科目別	搬送人員	前年数	前年比	傷病程度					傷病名		
				死亡	重篤	重症	中等症	軽症	1位	2位	3位
合計	18,659	18,190	▲469	295	210	358	10,345	7,451	発熱 2,125	腹痛 1,315	意識障害・意識消失 1,254
構成比	100%	-	-	1.6%	1.1%	1.9%	55.4%	39.9%			
消化器科	3,358	3,142	▲216	4	2	16	1,815	1,521	腹痛 1,315	悪心・嘔気・嘔吐 635	吐・下血 454
循環器科	1,625	1,738	▲113	2	5	94	1,159	365	脳卒中 682	頭痛 248	脳梗塞 181
	5,337	4,994	▲343	287	196	150	2,828	1,876	意識障害・意識消失 1,254	疲労・脱力感 815	眩暈(めまい) 598
呼吸器科	4,563	4,624	▲61	1	1	73	2,840	1,648	発熱 2,125	呼吸困難 794	痙攣発作 448
精神科	350	328	▲22	-	-	1	155	194	癲癇(てんかん) 154	急性アコシカ中毒・アコシカ精神科 100	他の精神疾患 32
神経科	1,686	1,629	▲57	-	-	7	734	945	眩暈(めまい) 353	腰痛症 335	神経痛 247
泌尿器科	562	577	▲15	-	1	2	232	327	尿管結石・尿路結石 257	尿閉 98	他の泌尿器疾患 64
産婦人科	155	159	▲4	-	-	-	95	60	性器不正出血 22	月経痛 16	他の産婦人疾患 16
感覚器科	131	147	▲16	-	-	-	14	117	鼻出血 70	メニエル氏病 15	他の眼疾患 10
内分泌科	197	168	▲29	-	1	5	142	49	低血糖症 128	糖尿病 24	痛風 14
皮膚科	134	124	▲10	-	-	-	61	73	蜂窩織炎 45	蕁麻疹(じんま疹) 36	他の皮膚疾患 29
感染症	123	130	▲7	-	1	3	70	49	トラコーマ 53	インフルエンザ 40	敗血症 19
その他	438	430	▲8	1	3	7	200	227	熱中症 289	診断不明および原因不明の死亡 82	画像、機能検査における異常所見 40

(注) 循環器科の上段は脳血管、下段は脳血管以外です。

## 11 受傷部位・傷病程度と傷病名(外傷)

受傷部位は、頭部・顔面が2,778人(37.1%)、次いで下肢が1,942人(25.9%)で多く、また、傷病程度は軽症が半数以上を占めています。

区分 科目別	搬送人員	前年数	前年比	傷病程度					傷病名		
				死亡	重篤	重症	中等症	軽症	1位	2位	3位
合計	7,484	7,404	▲80	43	28	99	3,189	4,125	頭部外傷 1,419	大腿骨骨折(非開放性) 1,002	下肢打撲・圧迫 462
構成比	100%	-	-	0.6%	0.4%	1.3%	42.6%	55.1%			
頭部顔面	2,778	2,794	▲16	-	3	20	653	2,102	頭部外傷 1,419	頭部挫創・裂創等 440	顔面・耳挫創・裂創等 440
下肢	1,942	1,842	▲100	-	-	20	1,382	540	大腿骨骨折(非開放性) 1,002	下肢打撲・圧迫 462	下肢挫創・裂創等 107
頸部	193	207	▲14	-	1	3	42	147	頸椎捻挫 131	頸部打撲・圧迫 38	頸骨骨折(非開放性) 11
上肢	951	959	▲8	-	-	9	322	620	上肢打撲・圧迫 229	上肢挫創・裂創等 142	上腕骨骨折(非開放性) 99
胸部	321	356	▲35	-	-	4	115	202	胸部打撲・圧迫 273	鎖骨骨折(非開放性) 28	気胸・血胸 15
腰部臀部	234	222	▲12	-	1	8	131	94	臀部打撲・圧迫 174	骨盤骨折(非開放性) 33	ギックリ腰、椎間板ヘルニア 10
背部	310	317	▲7	-	-	-	147	163	背部打撲・圧迫 299	背部表在損傷(擦過傷) 3	背部の切創 3
全身	42	37	▲5	3	4	6	26	3	全身打撲骨折 36	全身重症熱傷 3	全身中等症熱傷 2
腹部	77	90	▲13	1	-	2	26	48	腹部打撲・圧迫 56	腹部の刺創 5	腹腔内臓器損傷(破裂を除く) 5
体幹部	269	223	▲46	2	-	9	234	24	体幹部骨折(非開放性) 221	頸髄損傷 45	胸髄損傷 2
その他	367	356	▲11	37	19	18	111	182	咽・喉頭異物 59	その他(肋骨等)の非開放性骨折 51	食道・胃異物 30

## 12 発生場所別傷病程度(交通事故)

交通事故での出場は、一般道路上が圧倒的に多く、1,381人(77.4%)となっています。

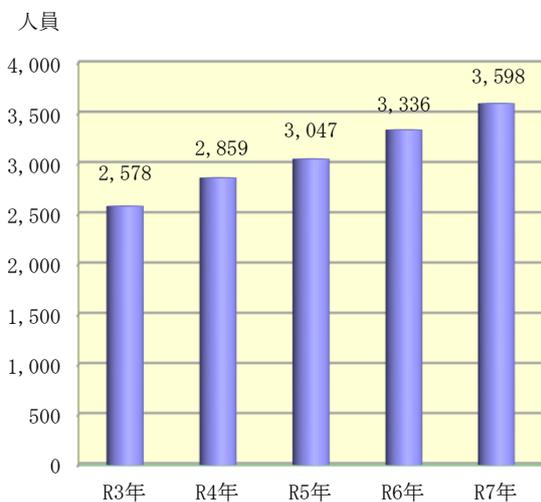
発生場所 区分	合 計	前 年 数	前 年 比	国 道 2 号	国 道 250 号	国 道 312 号	姫 路 バ イ パ ス	播 但 連 絡 道	山 陽 自 動 車 道	中 国 自 動 車 道	国 道 29 号	国 道 372 号	一 般 道 路	そ の 他 の 場 所
搬送人員	1,785	1,868	▲ 83	73	48	59	51	9	5	4	15	24	1,381	116
前年数	1,868	-	-	53	58	57	51	12	18	3	15	16	1,456	129
前年比	▲ 83	29	-	20	▲ 10	2	-	▲ 3	▲ 13	1	-	8	▲ 75	▲ 13
死亡	9	8	1	-	-	1	-	-	-	-	-	-	5	3
重篤	8	5	3	-	-	2	-	-	-	-	-	-	6	-
重症	21	68	▲ 47	2	1	1	-	1	-	-	-	-	14	2
中等症	464	484	▲ 20	13	12	14	13	6	2	1	5	5	361	32
軽症	1,283	1,303	▲ 20	58	35	41	38	2	3	3	10	19	995	79

## 13 発生場所別傷病程度(一般負傷)

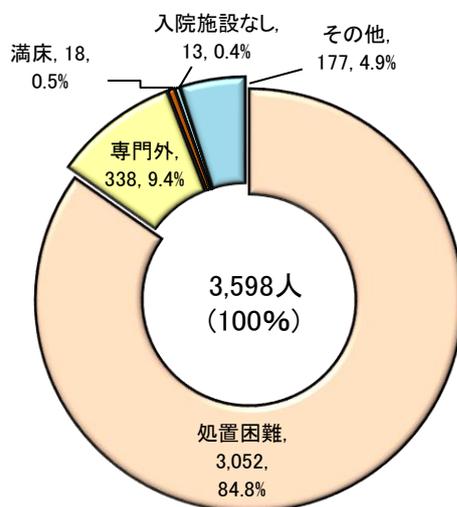
一般負傷での出場は、一般住宅が最も多く、次いで道路上となっています。

発生場所 区分	合 計	前 年 数	前 年 比	一 般 住 宅	共 同 住 宅	道 路 上	店 舗 ホ テ ル	福 祉 施 設	学 校	駅 停 留 所 等	仕 事 場	病 院	屋 内 ・ 屋 外 他	そ の 他
搬送人員	4,875	4,775	100	2,264	568	656	266	493	88	53	36	24	366	61
前年数	4,775	-	-	2,254	523	652	299	446	84	57	47	17	345	51
前年比	100	253	-	10	45	4	▲ 33	47	4	▲ 4	▲ 11	7	21	10
死亡	18	24	▲ 6	13	2	-	-	3	-	-	-	-	-	-
重篤	17	17	-	7	2	1	1	6	-	-	-	-	-	-
重症	44	69	▲ 25	21	4	2	2	8	1	-	1	-	5	-
中等症	2,203	2,163	40	1,144	250	191	70	349	11	13	18	11	117	29
軽症	2,593	2,502	91	1,079	310	462	193	127	76	40	17	13	244	32

## 14 過去5年間の転院搬送人員の推移

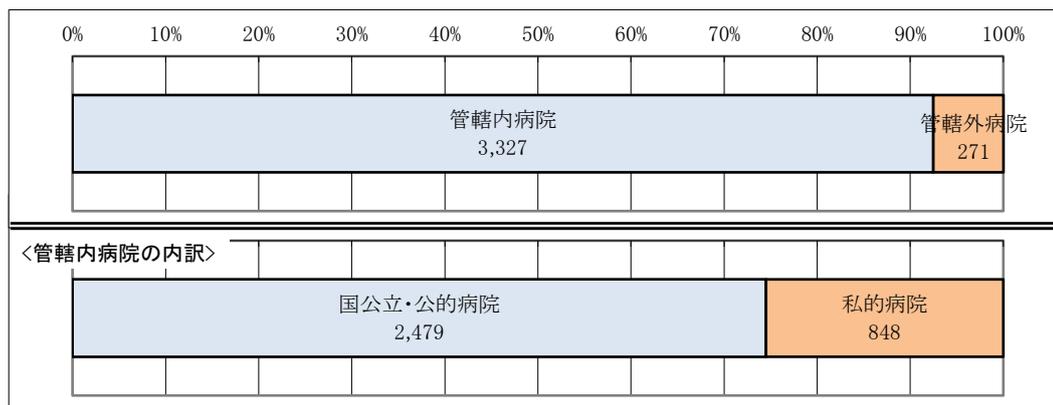


## 15 転院の理由



## 16 転院医療機関

転院先の約90%が管轄内病院となっています。



## 17 管轄外・県外の転院医療機関

医療機関名	搬送人員
加古川中央市民病院	41
市立加西病院	29
兵庫県立こども病院	21
たつの市民病院	18
公立宍粟総合病院	18
立加古川医療センター	17
高砂西部病院	13
神戸大学医学部附属病院	12
順心病院	11
赤穂市民病院	7
神戸市立中央市民病院	6
明石医療センター	6
赤穂中央病院	5
その他の	67
<b>合計</b>	<b>271</b>

転院に要した最長時間は5時間3分、最長距離は266kmです。

このことは、転院出場している救急車受持区域において、次の救急が発生した場合、最も近い救急隊の現場への到着が遅れる一因となっています。

## 18 隊員の行った応急処置の状況

救急隊員は、全搬送人員29,730人中の約99.97%にあたる29,720人に対し、応急処置を実施しています。

事故種別	合計	急病	交通事故	一般負傷	その他
応急処置割合	99.97%	99.97%	100.00%	99.94%	99.95%
搬送人員	29,730	18,659	1,785	4,875	4,411
対象人員	29,720	18,654	1,785	4,872	4,409

## 19 応急処置実施状況

区 分		合 計	急 病	交通事故	一般負傷	その他
止 血		882	115	129	527	111
固 定		1,008	39	488	350	131
人 工 呼 吸		141	118	3	8	12
胸 骨 圧 迫		26	24	-	2	-
心 肺 蘇 生		586	488	15	38	45
酸 素 吸 入		4,374	3,152	72	171	979
気道確保(特定行為以外)		834	680	23	64	67
保 温		678	462	56	85	75
被 覆		2,168	132	486	1,315	235
在 宅 療 法		229	205	2	21	1
除 細 動		45	42	-	1	2
そ の 他		42,104	28,116	2,309	6,563	5,116
特定行為	気道確保 (うち気管挿管)	464	400	7	32	25
	アドレナリン投与	26	9	-	15	2
	輸 液 (うち心肺停止前輸液)	186	156	2	16	12
	輸 液 (うち心肺停止前輸液)	463	402	8	28	25
	血 糖 測 定	125	115	3	3	4
	ブドウ糖投与	522	504	4	9	5
ブドウ糖投与	68	68	-	-	-	
合 計		54,778	35,103	3,604	9,230	6,841

※ 実施数(特定行為を除く)は、現場及び車内処置の合計です。  
特定行為については、実施対象者数です。

## 20 救急資器材使用状況

使用資器材名(観察)	使用回数	使用資器材名(処置)	使用回数
パルスオキシメーター	33,298	毛 布	788
聴 診 器	10,273	酸 素 吸 入 器	8,591
心 電 計	24,224	ガ ー ゼ	2,558
血 圧 計	32,259	頸 部 固 定 具	803
瞳 孔 点 眼 灯	14,949	三 角 巾	100
体 温 計	33,115	バ ッ グ バ ル ブ マ ス ク	693
触 診	33,786	絆 創 膏	187
呼気炭酸ガス測定器	386	自 動 体 外 式 除 細 動 器	741
		食 道 閉 鎖 式 エ ア ウ ェ イ	444
		吸 引 器	369
		頸 椎 脊 椎 固 定 用 具	423
		酸 素 吸 入 用 マ ス ク	8,591
		輸 液 セ ッ ト	552
		副 子	118
		人 工 呼 吸 器	235
		包 帯 類	1,040
		喉 頭 鏡	52
		そ の 他	17,467
合 計	182,290	合 計	43,752

## 21 搬送体位別搬送人員

体位区分	搬送人員	体位区分	搬送人員	体位区分	搬送人員
仰 臥 位	14,364	頭 側 高 位	277	足 側 高 位	273
座 位	13,112	抱 き か か え	762	腹 臥 位	38
側 臥 位	797	膝 屈 曲 位	49	そ の 他	58
				合 計	29,730

## 22 救命率

救急隊が搬送した心肺停止患者578人で、30日以上生存者37人中16人が社会復帰されています。

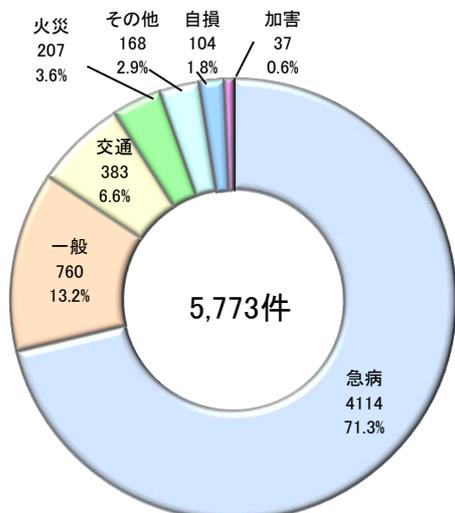
区 分	合計	火災	自然	水難	交通	労災	運動	一般	加害	自損	急病	転院
救急隊による心肺停止患者搬送者数	578	3	—	4	15	4	—	38	—	29	481	4
上記のうち市民による心肺蘇生法実施者数	249	—	—	1	4	1	—	22	—	9	210	2
1日以上7日未満生存	19	—	—	—	—	—	—	2	—	3	14	—
7日以上30日未満生存	13	—	—	—	1	—	—	2	—	1	9	—
30日以上生存	37	—	—	—	—	—	—	2	—	—	33	2
30日以上生存の内、社会復帰	16	—	—	—	—	—	—	1	—	—	13	2
発 生 場 所	個人住宅	327	1	—	—	—	—	22	—	19	285	—
	共同住宅	56	2	—	—	—	—	4	—	6	44	—
	福祉施設等	103	—	—	—	—	—	11	—	1	91	—
	一般道・高速道	32	—	—	—	12	—	—	—	1	19	—
	その他の屋外・屋内	3	—	—	—	—	—	—	—	2	1	—
	ホテル・デパート等	17	—	—	—	—	—	1	—	—	16	—
	工場・作業場等	10	—	—	—	—	4	—	—	—	6	—
	病院・診療所等	4	—	—	—	—	—	—	—	—	—	4
	JR姫路駅・構内	2	—	—	—	1	—	—	—	—	1	—
	デモ	5	—	—	—	—	—	—	—	—	5	—
	広場・遊園地・空地等	3	—	—	—	1	—	—	—	—	2	—
	山・川・池・海等	11	—	—	4	1	—	—	—	—	6	—
	その他	5	—	—	—	—	—	—	—	—	5	—
年 齢	3歳未満	1	—	—	—	—	—	—	—	—	1	—
	4～6歳	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	7～15歳	5	—	—	1	—	—	1	—	2	1	—
	16～19歳	3	—	—	—	1	—	—	—	—	2	—
	20～29歳	6	—	—	—	2	1	—	—	2	1	—
	30～39歳	7	—	—	1	—	—	—	—	1	5	—
	40～49歳	14	—	—	—	2	—	—	—	1	9	2
	50～59歳	42	2	—	—	2	1	—	1	8	27	1
	60～69歳	54	—	—	—	2	2	—	1	4	45	—
	70～79歳	155	—	—	2	2	—	—	13	—	129	1
	80～89歳	198	1	—	—	3	—	—	13	—	179	—
90歳以上	93	—	—	—	1	—	—	9	—	82	—	

※ 市民処置は、傷病者の側にいた人が心肺蘇生法、または胸骨圧迫を実施した数です。

※ 生存者は、30日以上生存されている方です。

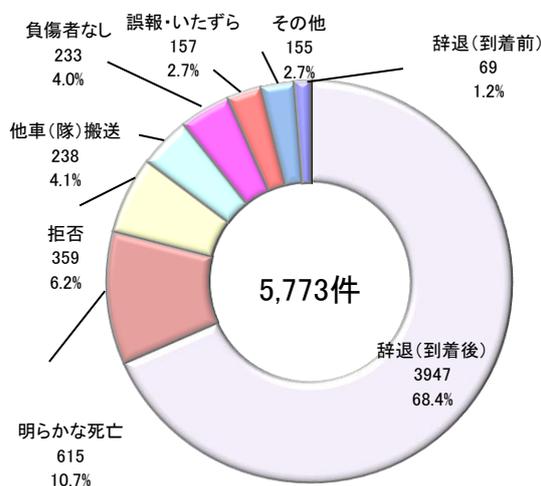
## 23 不搬送状況

出場件数35,387件に対する不搬送件数は5,773件(16.3%)です。



## 24 不搬送理由

不搬送理由のうち辞退及び拒否については、慎重な観察を行う必要があります。



## 25 過去5年間の傷病者の推移

年次 傷病区分	令和 7年	令和 6年	令和 5年	令和 4年	令和 3年
総計	29,730	28,952	27,250	25,370	22,249
外傷性(合計)	7,484	7,403	6,913	6,641	6,010
開放創傷	1,334	1,341	1,300	1,226	1,171
開放性骨折	50	57	64	62	57
非開放性骨折	1,782	1,619	1,606	1,569	1,351
表在損傷	81	84	96	64	79
頭部外傷等	1,623	1,691	1,489	1,415	1,200
打撲・捻挫	2,120	2,125	1,926	1,896	1,738
切断創	30	21	24	20	20
熱傷	99	96	85	75	78
異物	163	175	141	126	130
咬傷	78	79	77	66	68
その他	124	115	105	122	118
非外傷性(合計)	22,246	21,549	20,337	18,729	16,239
循環器系	8,239	7,882	7,377	7,104	6,428
脳血管障害	1,558	1,566	1,470	1,362	1,263
心疾患	1,735	1,633	1,574	1,515	1,423
血液・造血器	61	47	34	33	25
新生物	30	37	24	26	23
診断名不明確	4,590	4,341	4,059	3,931	3,460
その他	265	258	216	237	234
呼吸器系	5,180	5,288	4,866	3,731	3,398
上気道	54	64	56	53	41
喘息	87	103	75	69	60
肺炎	690	730	614	470	474
新生物	56	70	84	69	72
診断名不明確	3,325	3,364	3,069	2,281	2,061
その他	968	957	968	789	690
消化器系	4,129	3,810	3,707	3,308	2,914
胃・十二指腸	166	156	189	159	171
腸・下部消化管	2,442	2,229	2,152	1,954	1,686
肝・胆	330	267	208	223	207
新生物	111	104	124	109	97
診断名不明確	900	874	842	680	600
その他	180	180	192	183	153
神経系	1,747	1,702	1,659	1,339	1,298
中毒	156	131	149	112	110
自律神経	9	21	19	12	13
腰痛	383	357	414	320	304
中枢神経	51	63	47	33	34
その他	1,148	1,130	1,030	862	837

年次 傷病区分	令和 7年	令和 6年	令和 5年	令和 4年	令和 3年
精神系	378	351	327	284	311
アルコール中毒	101	106	90	66	76
神経症	2	1	4	6	2
そううつ	14	11	12	7	9
その他	261	233	221	205	224
泌尿器系	674	703	654	637	602
腎炎・腎不全	96	106	98	117	101
結石	280	295	293	262	291
前立腺	4	2	5	2	3
新生物	20	18	21	24	17
その他	274	282	237	232	190
産婦人系	309	302	266	279	240
分娩	41	50	37	50	34
分娩疾患	57	46	47	64	45
妊娠・流産	44	38	42	34	34
月経・生殖器	70	86	70	56	65
出産児	10	11	10	12	8
新生物	30	25	24	26	20
その他	57	46	36	37	34
感覚器系	148	162	154	135	149
眼球	30	34	22	26	15
耳鼻	118	128	132	109	134
その他	-	-	-	-	-
内分泌系	213	180	206	183	178
甲状腺	4	1	5	3	2
糖尿病	167	141	160	141	144
新生物	1	-	8	3	2
その他	41	38	33	36	30
感染系	179	195	352	1,075	349
第四類感染症	48	45	46	1	-
食品	2	2	-	-	-
結核	3	5	1	4	3
その他	126	143	305	1,070	346
皮膚系	156	149	111	101	97
皮下組織	71	74	51	36	42
新生物	1	1	3	2	3
その他	84	74	57	63	52
筋骨格系	224	188	146	127	115
筋骨格系疾患	215	184	142	123	107
新生物	9	4	4	4	8
その他	670	637	512	426	160
熱中症	355	370	308	242	151
他の新生物	3	1	1	2	2
その他の分類	312	266	203	182	7

## 26 市民処置状況

実施者区分 応急処置区分	合計	本人・ 家族	医療 従事 者	知人・ 同僚	職員・ 団員	教職員	警察官	実施 者 不明	その他	加害者
胸骨圧迫	275	136	39	17	1	1	4	2	75	—
人工呼吸	1	—	1	—	—	—	—	—	—	—
気道確保	10	5	3	1	—	—	—	—	1	—
創傷・緊縛処置	30	18	—	5	1	2	—	—	4	—
移動体位管理	22	16	3	2	—	—	1	—	—	—
除細動	10	—	4	—	—	1	—	—	5	—
固定処置	2	2	—	—	—	—	—	—	—	—
保温	1	1	—	—	—	—	—	—	—	—
その他	29	13	4	5	—	—	—	—	7	—
合計	399	198	58	30	2	5	5	2	99	—

※ 救命率向上のためには、救急隊が現場到着するまでの間に付近の人が行う応急手当が最も重要です。

※ 市民処置が実施されていたが不搬送となった事案も含まれます。

## 27 救急救命士の特定行為等実施状況の推移

区分 年次	特定行為の指示を受けた患者		気道確保	静脈路確保		アドレナリン 投与	除細動	血糖 測定	ブドウ糖 投与
	心肺停止	拡大2行為							
令和7年	565	169	464(26)	463	(125)	186	45	522	68
令和6年	518	175	416(22)	438	(134)	148	43	548	74
令和5年	505	157	383(11)	395	(116)	156	44	423	69
令和4年	489	142	381(12)	380	(104)	168	77	337	41
令和3年	511	126	403(11)	384	(88)	172	50	247	31

※ 気道確保の( )内は気管挿管、静脈路確保の( )内は心肺停止前静脈路確保実施数です。  
平成28年より、救急救命士による心肺停止前静脈路確保及び輸液、血糖測定、ブドウ糖投与の運用を開始しました。



# 付 表

# 救急関連業務

## 1 救急体制

### (1) 救急出場体制

救急隊の運用は、高機能消防指令システムにより、救急事案の覚知と同時に最寄りの救急隊が自動的に選定され出場します。通常の救急隊運用で対応できない集団災害などが発生したときは、「集団災害対応マニュアル」により、出場を行います。

### (2) 救急隊

救急隊は、救急自動車1台と、原則として救急隊員3人以上をもって編成し、救急自動車には搬送に適した設備と救急業務を行う上で必要な資器材を装備しています。

#### ア 救急隊員

救急業務は、傷病者の状態によっては直接生命にかかわる応急処置を必要とすることがあり、救急隊員には傷病者の救護に当たって専門的な知識と技術が要求されるため、昭和53年11月1日「消防法施行令」の一部改正により、自治省令に定める講習の修了者をもって運用していましたが、平成3年8月5日「救急隊員の行う応急処置等の基準」の一部改正及び平成3年8月15日「救急救命士法」の施行により、救急救命士の資格を有する者、救急Ⅱ課程・救急標準課程・救急科を修了した救急隊員をもって行っています。

なお、救急隊員に対する教育訓練及び救急救命士の養成等を計画的に実施するとともに、気管挿管、薬剤投与等を実施できる認定救急救命士の養成を進め、救命率の向上に努めています。

救急標準課程修了者(救急Ⅱ課程等含)	412
救急救命士(厚生労働大臣)	162
気管挿管認定救急救命士	77
ビデオ喉頭鏡挿管認定救急救命士	67
薬剤認定救急救命士	144
拡大二行為認定救急救命士	142

(令和7年12月31日現在)

イ 救急自動車積載資器材

観 察 用	体温計	保 温 ・ 搬 送 用	担 架	モンディアルストレッチャー	
	瞳孔点眼灯			レスキューシート	
	血圧計			バックボード(全脊柱固定用担架)	
	心電計			スクープストレッチャー	
	聴診器	消 毒 用	敷物・まくら		
	患者監視装置		保温用毛布		
	パルスオキシメーター		救急アルミックシート		
	血糖測定器	消 毒 用	オゾン除染システム		
呼 吸 ・ 循 環 管 理 用	自動式人工呼吸器	消 毒 用	各種消毒薬		
	バッグバルブマスク	救 出 用	ウインドポンチ・ガラスカッター		
	加湿流量計付酸素吸入装置		万能斧・バール・クリッパー		
	電動式吸引器		シートベルトカッター		
	呼気炭酸ガス濃度測定器	通 信 用	救命綱・救命浮環		
	口腔エアウェイ・経鼻エアウェイ		車載無線機		
	喉頭鏡		携帯電話(スマートフォン・従来型)		
	マギール鉗子	そ の 他 の 資 器 材	車両運用端末装置		
	モニター内蔵型ビデオ喉頭鏡		タブレット端末(iPad)		
	酸素ボンベ		在宅療法継続用資器材		
	自動体外式除細動器		汚物入		
	食道閉鎖式エアウェイ		膿盆		
気管挿管チューブ	産科救急セット				
三方活栓付き輸液セット	感染防止衣				
薬剤(アドレナリン・ブドウ糖)	感染防止手袋				
創 傷 等 保 護 用	副 子		陰圧副子	救急かばん等	
			頸部固定副子	サージカルマスク・N95マスク	
	滅菌ガーゼ・不織布ガーゼ		強力ライト		
	三角巾・包帯類		電動リングカッター		
	止血帯		LEDベスト		

## 2 医療体制

### (1) 救急告示医療機関

昭和38年の救急業務の法制化に伴い、救急隊により搬送される傷病者に関する医療を確保することを趣旨とした「救急病院等を定める省令」(S39.2厚生省令第8号)に基づき、知事が告示した管内の医療機関は、次の救急病院22医療機関です。なお、救急病院等の認定は、昭和62年2月から3年毎の更新制となっています。

### 救 急 告 示 医 療 機 関

(令和7年12月31日現在)

No.	区分 医療機関名	所在地 ( 姫 路 市 )	標 傍 科 目	病床数	電 話
1	医療法人会 仁 寿 会 石 川 病 院	別所町別所二丁目 150	内、呼内、外、心外、血外、肛外、ペ イン内、整、リウマチ、脳外、耳、リハビリ、 泌、放	206	252-5235
2	井 野 病 院	大塩町汐咲一丁目27	内、外、整、眼、小、消内、循内、呼 内、糖内、肝胆膵内、神内、人工透 析内、リウマチ、放、リハビリ、婦人、耳、 皮	100	254-5553
3	社会医療法人会 松 藤 会 入 江 病 院	飾磨区英賀春日町 二丁目25	内、消内、循内、腎内、外、整、脳 外、リハビリ、泌、麻、人工透析内、糖 内、乳外、消外、大・肛外	199	239-3121
4	金 田 病 院	夢前町前之庄2934-1	内、循内、呼内、消内、整、リハビリ、 心内	52	336-0016
5	國 富 胃 腸 病 院	青山三丁目33-1	内、胃腸内、外、整、リハビリ、老内、緩 内、放、麻	230	266-2355
6	医療法人社団 綱 島 会 厚 生 病 院	御立西四丁目1-25	内、神内、呼内、消内、循内、眼、リハ ビリ、放、精、皮、胃腸内	88	292-1109
7	医療法人社団 み どり の 会 酒 井 病 院	飾西412-1	外、内、整、消外、脳、泌、リウマチ、人 工透析内、リハビリ	112	266-8833
8	社会医療法人会 三 栄 会 三 栄 会 広 畑 病 院	広畑区夢前町3丁目 1番地	内、消内、整、眼、人工透析内、人工 透析外、腎内、神内、脳外、循内、リハ ビリ、放	130	230-0008
9	城 陽 江 尻 病 院	北条一丁目279	内、外、呼内、呼外、放、整、眼、リハビ リ、形、泌、循脂内、消内・消外、糖代 内、内泌内、腎内、内視内、人工透 析内	157	225-1231
10	神 野 病 院	飾磨区下野田二丁目 533番地3	整、内、外、リウマチ、リハビリ、形、 放、麻	103	235-5501
11	医療法人社団 光 風 会 長 久 病 院	広畑区小松町二丁目 66-1	脳外、循内、脳内、心内、外、老精、リ ハビリ、放、麻、消内、脊椎外科、糖内	50	237-5252
12	社会医療法人会 三 栄 会 ツ カ ザ キ 病 院	網干区和久68-1	脳外、整、心外、脳内、眼、リハビリ、 放、循内、外、乳外、内、人工透析 内、消内、消外、呼外、麻、泌、呼 内、感内、糖内、救、形、病理、小	406	272-8555
13	医療法人会 ひ ま わ り 会 八 家 病 院	西今宿二丁目9-50	整、脳外、脳内、リハビリ、麻、ペ外、リ ウマチ、内、外、胃腸内、心内、歯、矯正 歯、小児歯、歯口腔外	111	298-1731

救急告示医療機関

(令和7年12月31日現在)

No.	区分 医療機関名	所在地 (姫路市)	標榜科目	病床数	電話
14	独立行政法人 国立病院機構 姫路医療センター	本町68	内、精神、呼内、消内、循内、小、 外、消外、乳外、整、形、脳外、呼 外、皮、泌、婦、眼、耳、リウマチ、リハビ リ、放診、放治、麻、救、糖内、頭頸 外、緩内、病理、血内	405	225-3211
15	姫路愛和病院	飯田3丁目219-1	内、消内、循内、糖内、外、肛外、 整、リウマチ、リハビリ、放、呼内、呼外、 麻	108	234-2117
16	姫路聖マリア病院	仁豊野650	内、呼内、消内、消・肝内、循内、緩 内、腎内、神内、人工透析内、外、乳 外、消外、大腸・肛門外、内視鏡外、 アレ、小外、形、整、小、皮、泌、産婦、 眼、耳、リハビリ、放、病理、救、麻	440	265-5111
17	姫路赤十字病院	下手野一丁目12-1	内、消内、血管腫瘍内、肝内、腎内、 糖内分内、呼内、循内、小、小外、 外、乳外、消外、呼外、心外、整、 形、脳外、皮、泌、産婦、眼、耳鼻咽 喉頭頸部、放診、放治、リハビリ、麻、 緩内、化内、歯、歯口外、病、臨	560	294-2251
18	医療法人 松浦会 姫路第一病院	御国野町国分寺143	外、内、整、脳外、リハビリ、消内、小、 血外、循内、消外	100	252-0581
19	医療法人社団 普門会 姫路田中病院	書写717	整、リウマチ、内、外、人工透析内、リハビ リ、麻、泌、皮	98	267-2020
20	医療法人 公仁会 姫路中央病院	飾磨区三宅二丁目36	神内、外、脳外、消内、整、消外、 麻、内、循内、放、乳外、肛外、リハビ リ、病理、救	235	235-7331
21	兵庫県立 はりま姫路 総合医療センター	神屋町三丁目264	内、呼内、消内、循内、腎内、脳内、血 液内、糖内分内、緩内、感内、腫瘍内、 外、呼外、消外、心外、脳外、乳外、小 外、整、形、精神、リウマチ、小、皮、泌、 産婦、眼、耳、頭頸部外、リハビリ、放診、 放治、麻、病理、救、歯科口腔外	736	289-5080
22	公立神崎総合病院	神崎郡神河町 栗賀町385番地	内、呼内、循内、外、胃腸外、整、 眼、麻、リハビリ、産婦、血外、脳外、 小、耳、皮、泌、精神、心内、歯	140	0790-32-1331

(2) 一般医療機関と救急医療

「救急病院等を定める省令」第1条ただし書きは、「疾病又は負傷の程度が軽易であると診断された傷病者及び直ちに応急的な診療を受ける必要があると認められた傷病者に関する医療を担当する医療機関は、病院又は診療所とする」と定め、傷病者を診察する医療機関は必ずしも救急告示医療機関とは限りません。

(3) 兵庫県立はりま姫路総合医療センター(救命救急センター)

ア 開設年月日 令和4年5月1日

イ 場 所 姫路市神屋町三丁目264

ウ 診療科目 総合内科、循環器内科、脳神経内科、糖尿病・内分泌内科、消化器内科、腎臓内科  
呼吸器内科、腫瘍・血液内科、膠原病リウマチ内科、感染症内科、緩和ケア内科  
外科・消化器外科、心臓血管外科、脳神経外科、乳腺外科、呼吸器外科、整形外科  
形成外科、歯科口腔外科、皮膚科、泌尿器科、眼科、耳鼻咽喉科頭頸部外科、  
放射線診断・IVR科、放射線治療科、リハビリテーション科、病理診断科、救急科  
精神科、麻酔科・ペインクリニック科、産婦人科、小児科、小児外科

兵庫県立はりま姫路総合医療センターへの選定者別・程度別搬送人員

程度別 選定者	合計	前年数	前年比	死亡	重篤	重症	中等症	軽症
隊長選定	4,162	4,385	▲ 223	83	115	203	2,574	1,187
消防指令センター選定	7	8	▲ 1	2	4	-	-	1
医師選定	1,430	1,282	148	2	4	41	1,333	50
関係者依頼	170	190	▲ 20	-	-	6	144	20
その他	1	2	▲ 1	-	-	1	-	-
合計	5,770	5,867	▲ 97	87	123	251	4,051	1,258

(4) 姫路市休日・夜間急病センター

- ア 開設年月日 昭和54年2月15日  
 イ 場 所 姫路市西今宿三丁目7番21号  
 ウ 診療科目 休日……内科・小児科・眼科・耳鼻咽喉科  
 夜間……内科・小児科  
 (姫路市医師会の医師が輪番で出務している。)  
 エ 診療時間 休日……9時～18時(日曜・祝日(振替日含む)及びお盆、年末年始)  
 夜間……21時～翌6時(年中無休)  
 オ 開設者 姫路市長 (管理者 一般社団法人姫路市医師会会長)

急病センターの二次後送病院

内 科	姫路医療センター・姫路赤十字病院・姫路聖マリア病院・ツカザキ病院 兵庫県立はりま姫路総合医療センター・井野病院・酒井病院・城陽江尻病院 入江病院・姫路第一病院・愛和病院・厚生病院
外 科	姫路医療センター・姫路赤十字病院・姫路聖マリア病院・ツカザキ病院 兵庫県立はりま姫路総合医療センター・姫路中央病院・石川病院・酒井病院 姫路第一病院・入江病院
小児科	姫路赤十字病院・姫路聖マリア病院・兵庫県立はりま姫路総合医療センター
耳鼻咽喉科	姫路医療センター・姫路赤十字病院・兵庫県立はりま姫路総合医療センター 姫路聖マリア病院・加古川中央市民病院
眼 科	兵庫県立はりま姫路総合医療センター・姫路赤十字病院・加古川中央市民病院 兵庫県立加古川医療センター・高砂市民病院・ツカザキ病院

月 別 搬 送 状 況

月 別	合計	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
人 員	188	26	18	22	15	13	13	17	12	13	9	19	11

(5) 脳神経外科輪番制

- ア 開設年月日 昭和57年8月1日  
 イ 輪番群 ツカザキ病院・姫路赤十字病院・姫路中央病院  
 兵庫県立はりま姫路総合医療センター・長久病院

月 別 搬 送 状 況

月 別	合計	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
人 員	5,148	484	436	420	417	415	399	445	395	402	453	442	440

参考 診療科目が脳神経外科である傷病者の大多数は、これらの輪番群への搬送です。

(6) 整形外科輪番制

- ア 開設年月日 平成6年4月1日
- イ 輪番群 姫路赤十字病院・神野病院・兵庫県立はりま姫路総合医療センター  
姫路聖マリア病院・姫路医療センター・ツカザキ病院  
石川病院・加藤整形外科・入江病院・八家病院・姫路田中病院
- ウ 在宅輪番 (平成19年4月より日曜昼間)  
竹村整形外科医院・井上外科整形外科・かしもと整形外科医院  
柴田整形外科クリニック・栗原整形外科・あさの整形外科  
段医院・戸谷整形外科・平野整形外科・みやもと診療所  
ひまわり整形外科・和田整形外科クリニック・姫路田中病院  
吉田整形外科・福島整形外科・長久整形外科・日野整形外科・高祖整形外科  
阿保クリニック・三輪整形外科・八家病院

(7) 循環器科輪番制

- ア 開設年月日 平成11年6月1日
- イ 輪番群 ツカザキ病院・姫路赤十字病院・兵庫県立はりま姫路総合医療センター

(8) 産婦人科輪番制

- ア 開設年月日 平成17年4月1日
- イ 輪番群 姫路赤十字病院・兵庫県立はりま姫路総合医療センター・姫路聖マリア病院  
おおたレディースクリニック・小国病院・親愛産婦人科・立岩産婦人科医院  
西川産婦人科・中林産婦人科クリニック

(9) 姫路市休日歯科診療所(歯科医師会口腔保健センター)

- ア 開設年月日 昭和62年12月30日
- イ 場 所 姫路市安田三丁目107
- ウ 診療時間 休日9時30分～12時  
(日曜・祝日(振替日含む)及びお盆、年末年始)
- エ 診療体制 歯科医師1人、歯科衛生士2人、事務員1人  
(ゴールデンウィーク、年末年始は増員)
- オ 診療体制 急患のみ(応急処置を行う)
- カ 開設者 一般社団法人 姫路市歯科医師会

### 3 応急救護知識の普及

傷病者を救急隊や医師の手にゆだねるまでの間に、傷病の状態を更に悪化させないため、応急手当の知識、技術を市民に対して広く普及する必要があります。

応急手当は早く適切に行うことが大切で、特に心肺停止患者に対しては、付近にいる人により心肺蘇生法(CPR)が行われることで救命率が大きく向上します。

また、大規模災害など同時多数の傷病者が発生した場合を想定し、応急手当を自主防災組織、企業等に普及していく必要があります。

令和2年からは新型コロナウイルス感染症感染拡大に伴い、救急講習・受講者数が減少していましたが、5類へ移行した令和5年から講習会数及び受講者は増加傾向にあります。

また講習毎に、救急車の適正利用を市民に呼びかけています。

#### (1) 過去5年間ににおける講習回数と受講者数

年別 区分	令和7年	令和6年	令和5年	令和4年	令和3年
受講者数	5,535	5,626	5,044	3,313	1,840
講習回数	283	284	280	152	110

新型コロナウイルスの影響により受講回数(人数)が減少しています。

#### (2) 対象と講習内容

対象種別	回数	講習内容	回数	人数
総数	283	総数	283	5,535
事業所	93	応急手当指導員講習 (24時間)	6	86
P T A	9	応急手当普及員講習 (24時間)	2	34
学校教職員	47	上級救命講習 (8時間)	2	42
団体・グループ	29	普通救命講習 (3時間)	125	1,762
自治会・自主防災組織	17	救急講習	148	3,611
小・中学生	10			
高校生	5			
スポーツ施設	6			
官公庁職員	17			
社会福祉関係	15			
一般市民等	35			

#### 4 各研修実施状況(令和7年4月～令和8年3月)

##### (1) 病院実習等

	人数	時間(延べ)	病院名
就業前実習 (薬剤実習含む)	11人	1,320時間	兵庫県立はりま姫路総合医療センター・姫路医療センター 姫路赤十字病院
再教育実習	298人(延べ)	5,070時間	兵庫県立はりま姫路総合医療センター・姫路医療センター 姫路聖マリア病院・姫路中央病院・公立神崎総合病院 兵庫県立災害医療センター・兵庫県立加古川医療センター
挿管実習	6人		兵庫県立はりま姫路総合医療センター・姫路聖マリア病院 ツカザキ病院
ビデオ喉頭鏡実習	4人		兵庫県立はりま姫路総合医療センター

研修名	参加人数 (延べ)	日付・開催場所
近畿救急隊員部会	24	6/3大阪市、7/12大阪市 12/17神戸市、2/23京都市
第16回姫路市救急医療フォーラム	7	9/1 姫路市
第34回全国救急隊員シンポジウム	3	1/22・23 熊本市

##### (3) 研修会発表

演者	演題名	研修名	日付・場所
宮内 綾大	わたしたちにできること「もしも」に備える力	第16回姫路市救急医療フォーラム	9/1 姫路市
橋本 泰行	姫路市消防局における救急DXの進展	第20回県立病院学会シンポジウム	9/6 姫路市
橋本 泰行	救急DXの成果と将来展望	第34回全国救急隊員シンポジウム	1/22・23 熊本市
習田 良輔	老人副施設の看取りとDNARプロトコル 現状と課題	在宅医療勉強会	1/28 姫路市
習田 良輔	DNARプロトコルについて	姫路市地域包括支援センター中部 第二ブロック研修会	2/24 姫路市

## 5 事後検証委員会実施状況

(1) 検証委員会の開催状況 【検証対象期間: 令和6年12月1日～令和7年11月30日】  
(姫路市消防局)

	開催日	検証対象期間
令和7年度 第1回	令和7年4月21日	R6.12.1 ～ R7.1.31
令和7年度 第2回	令和7年6月23日	R7.2.1 ～ R7.3.31
令和7年度 第3回	令和7年8月29日	R7.4.1 ～ R7.5.31
令和7年度 第4回	中止	-
令和7年度 第5回	令和7年12月23日	R7.6.1 ～ R7.9.30
令和7年度 第6回	令和8年2月16日	R7.10.1 ～ R7.11.30

(2) 検証結果 【検証対象期間: 令和6年12月1日～令和7年11月30日】

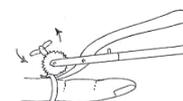
姫路市消防局	合計	割合	内訳							
			CPA	重症	ブドウ糖	ショック	クラッシュ	その他	エピペン	脳卒中
全症例数	770	100.0%	609	9	73	69	1	2	7	22
推奨(事例研究)	9	1.2%	7	1	-	1	-	-	-	-
標準	746	96.9%	593	7	72	65	1	1	7	22
署等で確認	9	1.2%	7	-	1	1	-	-	-	-
要改善	0	0.0%	-	-	-	-	-	-	-	-
稀・参考症例	6	0.8%	2	1	-	2	-	1	-	-

## 6 家島町における救急発生状況

年	出勤状況			患者搬送船				ヘリ搬送	救急車引継ぎ
	家島	坊勢	小計	救急艇	坊勢渡船	その他	小計		
令和6年	284	92	376	295	6	3	304	12	304
令和7年	290	121	411	326	2	4	332	5	332
前年比	6	29	35	31	▲4	1	28	▲7	28

## 7 指輪切断(リングカッター)使用状況

	合計		10代		20代		30代		40代		50代		60代		70代		80代		90代以上	
	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女
本部	-	7		1			1		2		1				1		1			
姫路東	2	12		2		2	1	2			1		1		1	1	1			2
姫路西	7	9	1		1	1	2	2	2	1		2	1		1		2			
飾磨	4	9				1	1		2	3	1	2		1		1		1		
網干	1	10				2				1		1	1	3		3				
中播	-	6				1				1			1		1		1			1
合計		67		4		8		9		12		8		8		8		7		3



## 8 PA出動件数

令和7年中のPA出動(飾東出張所及び大的出張所管内)の出動件数は149件でした。救急隊の出場現着平均時間は9分42秒、ポンプ隊の出場現着平均時間は3分50秒、救急隊とポンプ隊の差の平均時間は5分56秒でした。

	急病	交通事故	一般負傷	その他	合計
谷内校区	12	5	5	1	23
大塩校区	48	5	14	5	72
的形校区	32	8	13	1	54
合計	92	18	32	7	149

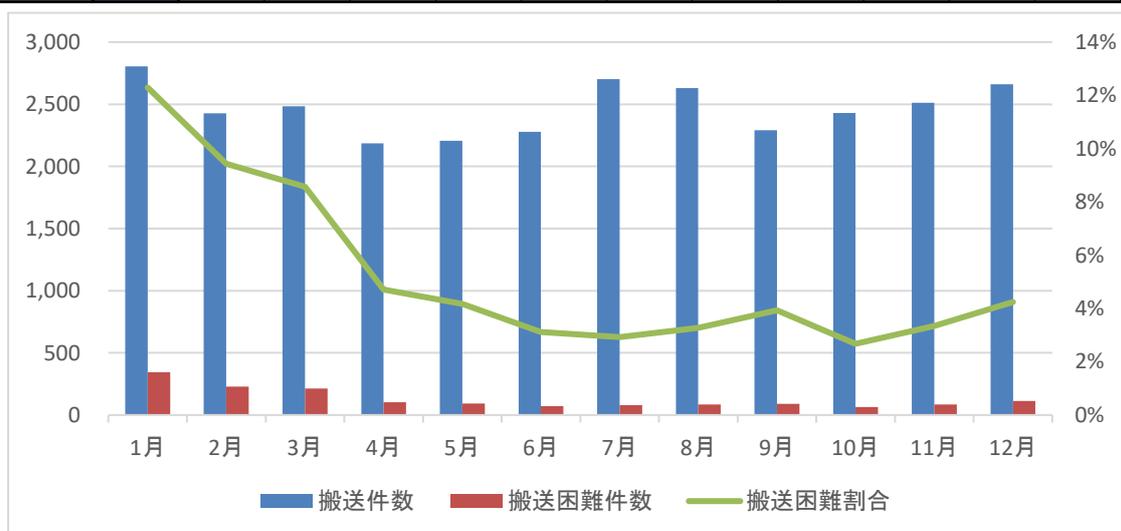
## 9 サンクスカード交付件数

令和7年中のサンクスカード交付件数は0件でした。

## 10 月別搬送困難件数

1月、2月、3月に搬送困難が増加しています。

	合計	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
搬送件数	29,614	2,806	2,428	2,484	2,185	2,206	2,278	2,702	2,630	2,292	2,431	2,512	2,660
搬送困難件数	1,570	345	229	213	103	92	71	79	86	90	65	84	113
搬送困難割合	5.3%	12.3%	9.4%	8.6%	4.7%	4.2%	3.1%	2.9%	3.3%	3.9%	2.7%	3.3%	4.2%



## 救急業務沿革

昭和

- 25. 10 姫路消防署救急業務開始
- 38. 4 消防法の一部改正により救急業務が法制化される。
  - 4 飾磨消防署救急業務を開始（延2隊）
- 39. 2 救急業務を実施しなければならない市町村が告示される。（全国105市）
  - 3 「救急業務実施基準」示される。
  - 4 消防法に基づく救急業務発足
- 43. 4 網干消防署救急業務を開始（延3隊）
- 44. 4 姫路消防署飾西出張所救急業務を開始（延4隊）
- 45. 6 姫路消防署御国野出張所救急業務を開始（延5隊）
- 46. 3 飾磨消防署白浜出張所救急業務を開始（延6隊）
- 48. 1 消防大学校第5期救急科に派遣、隊員指導者の育成を図る。
  - 9 姫路消防署城東救急分遣隊救急業務を開始（延7隊）
- 50. 4 「夜間救急対策費運営要綱」を制定、夜間救急患者の受け入れに協力した医療機関に対する謝礼金制度を確立
  - 7 飾磨消防署広畑出張所救急業務を開始（延8隊）
- 51. 1 国道2号線姫路バイパス開通に伴い、「消防救急業務の運用計画」を制定、有料自動車道における事故等の対策を決定
  - 4 消防相互応援協定の見直しを図り、一部隣接市町に対する救急業務の応援出場を削除し、業務の適正化を図る。
  - 4 「救急業務に協力した医師に対する報償金支給要綱」を制定、救急現場への医師確保のための謝金制度を確立
  - 8 積極的に救急業務に従事した模範救急隊員に対し、姫路東ロータリークラブから感謝状が贈呈される。（毎年継続中）
  - 9 隊員の健康管理のため特別検診を実施（毎年継続中）
  - 12 「救急業務に関する規程」を制定、業務の一元化を図る。
- 52. 3 「大規模救助救急業務計画」を制定、多数負傷者発生時の対策を決定
- 53. 7 「救急隊員の行う応急処置等の基準」を告示される。これに伴い救急隊員の応急処置等が義務化される。
  - 7 同上基準の告示に伴い「救急業務に関する規程」の一部改正を行い、傷病者に対する応急処置等を規定化
  - 11 消防法施行令の一部改正により、救急隊員の資格要件明確となる。
- 54. 5 消防大学校第14期救急科に派遣、隊員指導者の育成を図る。
- 55. 1 救急事務電算化のための準備作業開始
  - 7 アメリカ、カナダ救急事務システム等視察調査団に参加
  - 9 救急隊員確保のため法的特例措置に基づく補充講習を実施し、有資格隊員65名を確保
  - 10 業務開始30年、累計出場件数87,301件を記録
  - 11 「救急業務に関する規程」の全部改正、「同事務処理要綱」を制定し、救急技術の向上と業務の一元化効率を図る。

- 56. 1 救急業務の電算化開始
- 3 姫路消防署城東救急分遣所廃止
- 4 消防大学校第19期救急科に派遣、隊員指導者の育成を図る。
- 4 救急隊員確保のため法的特例措置に基づく補充講習を実施し、有資格隊員56名を確保
- 6 「消防署の組織に関する規程」の一部改正に伴い署に救急係を新設
- 6 姫路西消防署救急業務を開始（延8隊）
- 57. 6 累計出場100,000件を記録
- 8 脳外科輪番群受入体制確立
- 9 救急の日、救急医療週間が制定される。
- 10 休日緊急救護所後送病院制度確立
- 58. 4 県救急医療情報システムによる救急管制業務開始
- 61. 1 消防大学校第29期救急科に派遣、隊員指導者の育成を図る。
- 4 休日緊急救護所を廃止し、夜間急病センターに併設され休日夜間急病センターとなる。
- 4 消防法及び消防組織法の一部が改正され、これにより救急業務の対象及び応急手当が明確化される。（S62. 1. 1から施行）
- 7 休日夜間急病センターに耳鼻科、眼科が併設される。（日曜、祝日（振替日含む）及び年末年始）
- 62. 2 「救急病院等を定める省令」の一部改正される。（S62. 1. 12 厚生省令第2号）
- 12 姫路市医師会医療情報システム運用開始
- 12 休日歯科診療所開設される。
- 63. 4 救急救助係が新設される。
- 4 救急隊員の感染防止対策が図られる。
- 12 新CPR実施要領が定められる。
- 平成  
元. 10 姫路赤十字病院が脳外科輪番群に入る。
- 12 (株)民間救急サービス（患者輸送サービス）営業開始
- 2. 1 消防大学校第37期救急科に派遣、隊員指導者の育成を図る。
- 11 姫路東消防署豊富出張所救急業務を開始（延9隊）
- 3. 4 消防課救急係新設
- 4 「救急救命士法」公布される。（H3年8月15日施行）
- 8 「救急救命士法施行令」公布される。
- 8 「救急救命士法施行規則」制定される。
- 8 「救急隊員の行う応急処置等の基準」の一部改正される。
- 8 「消防学校の教育の基準」の一部改正される。
- 8 「救急振興財団」設立される。
- 9 救急救命士受験資格者教育を開始（救急救命中央研修所）
- 12 救急Ⅱ課程教育開始（兵庫県消防学校）
- 4. 3 海外研修（アメリカのパラメディック制度及び市民指導方法）
- 6 救急救命士誕生（1人）

4. 9 応急処置拡大に伴う改正のため救急事務電算化の準備作業開始
- 11 救急Ⅱ課程者病院実習開始
- 12 救急Ⅱ課程対応救急車施行運用開始
5. 1 救急Ⅱ課程対応救急車運用開始
  - 1 救急事務新電算化開始（応急処置拡大に伴う改正）
  - 3 応急手当の普及啓発活動の推進に関する実施要綱制定される。
  - 4 姫路市救急指導医の嘱託制の開始
  - 4 救急救命士卒後病院実習開始
  - 5 救急救命士資格取得（2人）
  - 9 救急車医師同乗現場研修開始
6. 1 高規格救急車運用開始（姫路東消防署に配置）  
救急救命士特定行為開始
  - 2 県立循環器病センター 特定行為の指示開始
  - 2 心電図伝送開始（4台）
  - 3 救急振興財団応急手当指導員講習（1人）
  - 4 整形外科輪番群受入体制確立
  - 5 救急救命士資格取得（3人）
  - 6 高規格救急車を飾磨消防署に配置（2台目）
  - 11 救急救命士資格取得（1人）
  - 12 姫路赤十字病院 特定行為の指示開始
7. 2 姫路市応急手当の普及啓発活動に関する要綱制定
  - 3 応急手当指導員資格者の養成（35人）
  - 4 救急救命士有資格者採用（1人）
  - 4 救急救命士九州研修所開所
  - 5 救急救命士資格取得（3人）
  - 6 国立姫路病院 特定行為の指示開始
  - 11 救急救命士資格取得（1人）（計12人）
  - 11 高規格救急車を姫路西消防署に配置（3台目）
8. 3 高規格救急車を網干消防署に配置（4台目）
  - 3 応急手当指導員資格者の養成（64人）
  - 5 救急救命士資格取得（3人）（計15人）
8. 8 ツカザキ記念病院 特定行為の指示開始
  - 11 救急救命士資格取得（2人）（計17人）
9. 3 高規格救急車を飾磨消防署広畑分署に配置（5台目）
  - 3 応急手当指導員資格者（81人）
  - 5 救急救命士資格取得（2人）（計19人）
  - 11 救急救命士資格取得（2人）（計21人）
  - 12 高規格救急車を姫路東消防署御国野出張所に配置（6台目）
10. 3 高規格救急車を姫路西消防署飾西出張所に配置（7台目）

- 10. 5 救急救命士資格取得（2人）（計23人）
- 10 ツカザキ記念病院 月～金曜日（夜間） 特定行為の指示開始
- 11 救急救命士資格取得（3人）（計26人）
- 12 高規格救急車を飾磨消防署白浜分署、姫路東消防署豊富出張所署に配置（9台目）
- 12 救急車の呼称名称の固定化
- 11. 3 高規格救急車を更新し姫路東消防署に配置
- 5 救急救命士資格取得（3人）（計29人）
- 11 救急救命士資格取得（3人）（計32人）
- 12. 3 高規格救急車を更新し飾磨消防署に配置
- 4 女性救急隊員の乗務開始
- 5 救急救命士資格取得（5人）（計37人）
- 新日鐵広畑病院 特定行為指示開始（火・木・土 夜間）
- 10 姫路市消防局救急業務開始50周年
- 11 救急救命士資格取得（3人）（計40人）
- 13. 1 応急手当指導員資格者の養成（計409人）
- 3 応急手当普及員の養成開始（24人）
- 5 救急救命士資格取得（3人）（計43人）
- 11 消防隊による救急支援出動（PA出動）の試行開始
- 11 救急救命士資格取得（2人）（計45人）
- 12 高規格救急車を更新し姫路西消防署、網干消防署に配置
- 14. 2 応急手当普及員の養成（30人）（計54人）
- 5 救急救命士資格取得（1人）（計46人）
- 5 応急手当普及支援員の導入
- 9 上級救命講習会の開始
- 11 消防隊による救急支援出動（PA出動）の本格運用
- 11 救急救命士資格取得（2人）（計48人）
- 12 応急手当普及員の養成（25人）（計79人）
- 15. 2 応急手当普及員の養成（14人）（計93人）
- 2 高規格救急車を更新し飾磨消防署広畑分署に配置
- 3 第一回 中・西播磨地域メディカルコントロール協議会開催
- 4 包括的指示下における除細動及び事後検証の開始
- 5 第一回 中・西播磨地域検証委員会開催
- 5 救急救命士資格取得（3人）（計51人）
- 10 女性救急救命士資格取得（1人）（計52人）
- 12 消防団員応急手当指導員資格取得（115人）
- 16. 2 応急手当普及員の養成（17人）（計110人）
- 2 高規格救急車を更新し姫路東消防署御国野出張所に配置
- 5 救急救命士資格取得（2人）（計54人）
- 7 救急救命士による気管挿管開始（2人）
- 8 救急隊員によるAED使用開始

- 17. 2 応急手当普及員の養成 (17人) (計127人)
- 2 高規格救急車を更新し姫路西消防署飾西出張所に配置
- 4 救急救命士有資格者採用 (1人)
- 5 救急救命士資格取得 (3人) (計57人)
- 18. 2 高規格救急車を更新し姫路東消防署、白浜分署に配置
- 4 救急救命士有資格者採用(1人)
- 救急救命士(認定)による薬剤(アドレナリン)投与開始
- 5 救急救命士資格取得(3人)
- 12 救急件数が20年ぶりに減少(対前年比)
- 救急隊員の心肺蘇生法要領の改正に基づく新プロトコールによる救急活動開始
- 19. 4 近隣北部3町の消防事務を受託し県下最大の管轄面積
- 4 救急隊15隊で運用(3隊増隊・本部・林田・香寺)
- 4 安富町の消防事務開始(委託終了)
- 4 救急講習支援員1人配置
- 4 救急救命士有資格者採用(1人)
- 5 救急救命士資格取得(5人)
- 12 救急医療体制検討会開催(全3回)
- 20. 3 高規格救急車を更新し姫路西消防署、飾磨消防署、姫路東消防署豊富出張所に配置
- 4 第25回全国菓子大博覧会・兵庫(姫路菓子博2008)救急警備
- 4 救急講習支援員増員(1人)
- 5 救急救命士資格取得(4人)
- 5 救急医療のあり方を検討する会議の開催(全6回)
- 7 「傷病者受入照会マニュアル」運用開始
- 21. 5 救急救命士資格取得(3人)
- 8 脳卒中プロトコール追加による新プロトコール策定
- 10 消防法改正「傷病者の搬送及び受入れの実施基準」
- 12 高規格救急車を更新し、飾磨消防署広畑分署、姫路東消防署御国野出張所に配置
- 22. 2 高規格救急車を更新し、中播消防署に配置
- 2 「脳卒中プロトコール」運用開始に伴う医師による研修会開催(2回)
- 4 救急救命士有資格者採用(1人)
- 12 救急出場件数が過去最高の24,291件を記録
- 23. 2 高規格救急車を更新し、姫路東消防署、中播消防署北部出張所に配置
- 4 家島・坊勢両出張所に軽救急車を配置し、離島での救急業務を開始
- 5 救急救命士資格取得(6人) (計114人)
- 24. 1 高規格救急車を更新し、姫路西消防署飾西出張所に配置
- 5 救急救命士資格取得(3人) (計117人)
- 9 救急救命技術競技会の開催
- 11 救急活動プロトコール一部改訂

- 25. 3 製鉄記念広畑病院 姫路救命救急センター開業
  - 5 救急救命士資格取得(4人)(計120人)
  - 7 PA出動範囲拡大
  - 7 救命講習修了証デザイン変更
  - 11 高規格救急車を更新し、香寺出張所、林田出張所に配置
  - 11 兵庫県ドクターヘリ運行開始
- 26. 1 救急救命士(認定)によるビデオ硬性挿管用喉頭鏡を用いた気管挿管開始
  - 3 姫路救命救急センタードクターカー運行開始
  - 5 救急救命士資格取得(4人)(計127人)
  - 5 第140回近畿救急医学会救急隊員部会を姫路で開催
  - 11 高規格救急車を更新し、飾磨消防署に配置
  - 11 救急活動プロトコル一部改訂(H25年以降 名称をプロトコルに変更)
- 27. 1 高規格救急車を更新し、姫路西消防署、網干消防署に配置し、以降の更新車両はすべて4WDとすることとした。
  - 2 第1回世界遺産姫路城マラソン開催に伴う警備実施
  - 4 救急救命士資格取得(4人)(計131人)
  - 11 地域メディカルコントロール協議会による拡大2行為追加講習実施
  - 11 派遣型救急ワークステーション試行的運用開始(姫路聖マリア病院)
- 28. 1 リユース型救急感染防止衣使用開始
  - 1 処置拡大(心停止前輸液、低血糖へのブドウ糖溶液投与)開始
  - 2 高規格救急車を更新し、姫路東消防署、豊富出張所、北部出張所に配置
  - 4 救急資器材管理供給システム(SPD)運用開始
  - 4 派遣型救急ワークステーション本格運用開始(姫路聖マリア病院)
  - 5 Web上での救急受診ガイド運用開始
  - 5 市民による高規格救急車の寄贈(御国野出張所に配置)
  - 5 救急救命士資格取得(3人)(計131人)
  - 9 バイスタンダーサポートのためのThanksカード運用開始
  - 11 地域メディカルコントロール協議会による拡大2行為追加講習実施
- 29. 5 救急救命士資格取得(3人)(計132人)
  - 9 eラーニング受講者対象救命講習実施開始
  - 11 高規格救急車を更新し、広畑分署、夢前出張所に配置
  - 12 派遣型救急ワークステーションの実施病院の拡充(製鉄記念広畑病院)
- 30. 1 転院搬送隊の運用開始
  - 4 救急救命士有資格者採用(5人)
  - 5 救急救命士資格取得(3人)(計142人)
  - 8 救急体制のあり方検討会開催(計3回)
  - 9 救急車の適正利用動画配信開始
  - 11 増位救急隊の試行的運用を開始

31. 1 高規格救急車を更新し、本部、飾西出張所に配置  
4 消防局に救急課を設置  
4 家島の救急艇を新造、運用開始
- 令和  
元. 5 救急救命士資格取得(4人)(計142人)  
9 医療機関と合同でプレホスピタル連携訓練を実施  
11 救急搬送支援システムの試験運用を開始
2. 1 高規格救急車を更新し、姫路西消防署、白浜分署に配置  
1 国内で新型コロナウイルス感染者が発生  
2~ 新型コロナウイルス感染防止対策を図る  
4 救急救命士有資格者採用(3人)  
5 救急救命士資格取得(6人)(計141人)  
7 高規格救急車の寄贈を受け、姫路東消防署に配置  
12 アイソレーターを購入し増位出張所に配置
3. 1 救急搬送支援システムの試験運用終了  
2 高規格救急車を更新し、網干消防署、香寺出張所に配置  
3 高規格救急車(感染症対策車両)を更新し、増位出張所に配置  
5 救急救命士資格取得(6人)(計145人)  
5 高規格救急車の寄贈(2台目)を受け、豊富出張所に配置  
9 新型コロナ第5波により搬送困難事例急増  
10 播磨姫路救急搬送システム(HEARTS)本格運用開始
4. 1 軽救急車を更新し、家島出張所、坊勢出張所に配置  
2 高規格救急車を更新し、飾磨消防署、中播消防署に配置  
2 新型コロナ第6波により感染者の搬送が急増  
4 救急救命士資格者採用(4人)  
5 救急救命士資格取得(6人)(計146人)  
派遣型救急ワークステーションの実施病院の拡充(兵庫県立はりま姫路総合医療センター)  
7 高規格救急車の寄贈(3台目)を受け、林田出張所に配置  
8 新型コロナ第7波により救急件数及び搬送困難事例が急増  
ひっ迫する救急需要に対し非常用救急車を活用し臨時救急隊を運用  
10 マイナンバーカードを活用した救急業務の迅速化・円滑化に向けた実証実験に参加  
12 新型コロナ第8波により救急件数及び搬送困難事例が急増  
第170回近畿救急医学会救急隊員部会を姫路で開催
5. 1 高規格救急車を更新し、御国野出張所、夢前出張所に配置  
4 救急救命士資格者採用(3人)  
5 救急救命士資格取得(6人)(計151人)  
7 第49回兵庫県下救急担当者会議を姫路で開催  
8 ひっ迫する救急需要に対し非常用救急車を活用し臨時救急隊を運用  
月間の救急出場件数が過去最高数(3,371件)を記録  
12 年間の救急出場件数が過去最高数(34,342件)を記録

6. 3 高規格救急車を更新し、広畑分署、飾西出張所、北部出張所へ配置
- 4 救急救命士資格者採用(5人)  
救急活動プロトコル一部改訂
- 5 救急救命士資格取得(6人)(計159人)  
マイナンバーカードを活用した救急業務の迅速化・円滑化に向けた実証実験に参加
- 7 高規格救急車の寄贈(4台目)を受け、日勤救急隊を創設  
兵庫県下初となる電動ストレッチャーを日勤救急隊に配備
- 8 ひっ迫する救急需要に対し非常用救急車を活用し臨時救急隊を運用
- 12 月間の救急出場件数が過去最高数(3,451件)を記録  
年間の救急出場件数が過去最高数(35,278件)を記録
7. 3 高規格救急車を更新し、救急課、姫路西消防署、白浜分署へ配置
- 4 退役救急自動車の譲渡(医療法人 仁寿会 石川病院、医療法人 公仁会 姫路中央病院)  
マイナンバーカードを活用した救急業務の迅速化・円滑化に向けた実証実験に参加
- 7 救急救命士運用開始(9人)(計162人)  
救急安心センター事業(＃7119)の県内全域展開
- 10 マイナンバーカードを活用した救急業務の迅速化・円滑化に向けた実証事業全国一斉開始